

社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会

事業報告

令和5年度は、新型コロナウイルス（以下コロナ）が5類となったことで、概ね通常通りの事業が実施できた1年となりました。ただ、障害福祉サービス事業につきましては、利用者数がなかなかコロナ前の水準に戻らない等、一定の影響が残る状況となっています。未だ市民への影響も残っており、昨年度から受託している「コロナ特例貸付」の債務者フォローアップ事業では、窓口への問い合わせや各種相談など、多忙な状態が続いています。

地域福祉分野では、重層的支援体制整備事業のうち特にアウトリーチ事業の相談者数及び相談件数がともに増加し、総合相談窓口としてのCSWの存在がより認知されてきています。

生活支援分野では、前述のコロナ特例貸付債務者フォローアップ事業以外でも、権利擁護成年後見センターにおける相談者数・相談件数がともに増加。特に、家族以外の支援関係機関からの相談件数が増加しており、市内相談機関とのネットワークが進んできています。

在宅福祉分野では、人材不足の解決と知的障害がある人の理解を広める活動を兼ねて、障害当事者と一緒に啓発チラシを配布したり、市内大学でガイドヘルプ事業の理解を広めるための講演を行うことで、若いガイドヘルパー登録者が増加するなど、少しずつ効果が表れました。また「ふれあいスポーツ交流会」「ジョイフルクリスマス会」の両イベントもコロナ前に近い形で開催することができました。

本会としては、このような情勢の中「経営戦略プログラム第4期」の2年目として、重点項目を実現すべく各種取り組みを継続しました。「事業戦略」「財務戦略」「人事戦略」に則り、安定した財務状況と人材確保を図るのはもちろんのこと、ルファルひらかた社協4階を活用した、「次世代育成支援多機能スペース事業」を企画・準備し、新年度からスタートする運びとなりました。ルファル5階で既に運営している、ひらかた社協ふくしプラットフォーム「ひらプラ」とともにテーマ型福祉団体の活動を支援する体制が整ってきました。

1. 法人組織の強化

○経営戦略プログラム（第4期）の進行

令和4～8年度の本会の強化発展方針を定める経営戦略プログラム（第4期）のもと、各重点項目の実現に取り組みました。

2. 重層的支援体制整備事業の実施

○相談支援体制の強化

福祉関係団体や市の福祉部局、地域組織と連携し、困りごとを抱えた人の支援ネットワークの構築に努めました。また校区福祉委員会と連携し、積極的なアウトリーチを行い、各小学校区の集会所等でCSWによる出張相談会を開催するなど、より身近な場所で相談支援を行いました。

3. 生活支援活動

○こうけん ひらかた（ひらかた権利擁護成年後見センター）の受託運営

パンフレットの見直しや少人数でのテーマ別連続講座を実施するなど、成年後見制度に関して啓発を行いました。また、権利擁護に関する地域連携ネットワークづくりや、専門知識等が必要なケースは、弁護士・司法書士・社会福祉士の無料専門相談につなぐなど、市民への相談対応を行いました。

○「新型コロナ特例貸付債権者フォローアップ事業」の運営

債務者からの様々な問い合わせや相談支援を行うフォローアップ事業を実施しました。

4. 在宅福祉活動

○啓発活動

障害のある人が、住み慣れた地域で長く安心して生活するための啓発の一環として、啓発チラシの配布や市内大学での講演を行った。また、これらの活動を通じて、少数ではあるが人材確保にもつながった。

1. 法人運営事業

(1) 理事会開催状況

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
5/29	ラポールひらかた 研修室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について ・理事候補者の評議委員会提出について ・令和5年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分（第1回）収入支出補正予算について ・評議員候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の開催について ・評議員会の招集について ・組織会員の入会について ・社会福祉充実計画について（報告） ・目的別積立金について（報告） ・基金・積立金について（報告） 	理事 1 2 監事 2
6/20	枚方市総合文化 芸術センター本館 創作活動室	会長、副会長及び常務理事の選任について	理事 1 1 監事 2
9/12	ラポールひらかた 研修室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、常務理事の職務執行状況について（報告） ・法人経営部会の報告について（報告） ・地域福祉活動部会の報告について（報告） ・ルファルひらかた社協4階における新規事業について ・令和5年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第2回）について ・枚方市社会福祉協議会職員の給与改定について ・決裁規程の一部改正について ・就業規則の一部改正について ・給与に関する規則の一部改正について ・定年退職及び定年前早期退職後の再雇用職員就業規則の制定について ・再雇用職員の給与等に関する規程の全部改正について ・個人情報保護規程の一部改正について ・個人情報保護に関する方針（プライバシーポリシー）の全部改正について ・枚方市地域包括支援センター社協こもれび介護予防支援事業運営規程の一部改正について ・枚方市地域包括支援センター社協ふれあい介護予防支援事業運営規程の一部改正について ・評議員候補者の推薦および評議員選任・解任委員会の開催について ・評議員会の招集について ・枚方市社会福祉協議会公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）の募集について（報告） ・経営戦略プログラム（第4期）の令和4年度評価について ・基金・積立金について 	理事 1 2 監事 2
12/15	ラポールひらかた 研修室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・部会の報告について（報告） ・理事候補者の評議員会提出について ・令和5年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入 	理事 1 5 監事 2

		支出補正予算（第3回）について ・給与に関する規則の一部改正について ・定年退職及び定年前早期退職後の再雇用職員給与に関する規則の一部改正について ・組織会員の入会について ・評議員会の招集について ・校区福祉委員会に対する助成金制度の方向性について ・基金・積立金の状況について ・枚方市社会福祉協議会公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）の助成団体決定について（報告）	
3/15	ラポールひらかた 研修室1	・法人経営部会の報告について（報告） ・会長・常務理事の職務執行状況について（報告） ・共同募金配分金事業 令和6年度の配分計画（案）について ・給与等に関する規程の一部改正について ・就業規則の一部改正について ・契約職員就業規則の一部改正について ・電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について ・役員等賠償責任保険契約の締結について ・令和5年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分（第3回）収入支出補正予算について ・評議員会の招集について ・令和6年度枚方市社会福祉協議会事業計画ならびに予算（案）について ・組織会員の入会について ・地域包括支援センターの今後の運営について ・基金・積立金の状況について（報告）	理事 10 監事 1

（2）部会開催状況

法人経営部会

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
8/29	枚方市総合文化芸術センター別館 （旧メセナひらかた） 特別会議室	・ルファルひらかた社協4階の新規事業について ・定年延長に伴う規則の改正について	5
12/7	ラポールひらかた 研修室3	・地域包括支援センターの今後の運営について	6
2/28	ラポールひらかた 研修室1	・共同募金配分金事業令和6年度の配分計画について ・基金の運用について ・地域包括支援センターの今後の運営について ・その他	4

地域福祉活動部会

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
8/21	枚方市総合文化芸術センター別館 （旧メセナひらかた） 特別会議室	・評議員会における評議員からの意見・質問への対応について ・その他	5

法人経営・在宅福祉サービス合同部会

月日	場 所	内 容	出席数
12/7	ラポールひらかた 研修室3	・サービス事業(グループホーム事業)の今後の方針について ・その他	8

(3) 評議員会開催状況

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
6/20	枚方市総合文化 芸術センター本館 創作活動室	・令和4年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について ・令和5年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分(第1回)収入支出補正予算について ・役員を選任について	評議員 27 理事 11 監事 2
9/25	枚方市総合文化 芸術センター本館 創作活動室	・令和5年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算(第2回)について ・各種規程・規則の改正について(報告) ・枚方市社会福祉協議会公募事業助成基金(市民ふくし活動チャレンジ基金)の募集について(報告)	評議員 30 理事 12 監事 2
12/25	ラポールひらかた 大研修室	・役員を選任について ・令和5年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算(第3回)について ・各種規程・規則の改正について(報告) ・枚方市社会福祉協議会公募事業助成基金(市民ふくし活動チャレンジ基金)の助成団体決定について(報告) ・評議員意見への回答について	評議員 22 理事 10 監事 2
3/25	ラポールひらかた 大研修室	・令和5年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分(第3回)収入支出補正予算について ・令和6年度枚方市社会福祉協議会事業計画ならびに予算(案)について ・各種規程・規則の改正について(報告)	評議員 27 理事 14 監事 2

(4) 枚方市社会福祉協議会経営戦略プログラム(第4期)の策定(R4年度~R8年度)

令和3年度に策定した、第4期プログラムの重点項目に定めた内容に従い、実現に向けた取り組みを着実に進めた。計画の進捗状況をチェックするための評価会議も設置した。

令和5年度は特に「財務戦略」による財務の安定を図りつつ、「事業戦略」の新たなチャレンジとして、ルファルひらかた社協4階を活用した取り組み「ひらプラ next smile(次世代育成支援多機能スペース)」を開設するなど複数の取り組みを具体化した。

(5) 第6次地域福祉活動計画 (R2年度~R6年度)

第6次地域福祉活動計画の進捗状況の報告や地域での活動状況の共有を行う「ふくしのまちづくり円卓会議」を2回開催した。第6次地域福祉活動計画の振り返りや福祉教育、ルファルひらかた社協での取り組み内容を報告し、各委員からの意見、評価をいただいた。

(6) 公募事業助成基金(市民ふくし活動チャレンジ基金)助成事業

市民が自らの力で福祉課題を解決していくことを支援するため、令和6年度分公募事業助成基金「市民ふくし活動チャレンジ基金」の助成団体を募集。スタートアップ助成とステップアップ助成の申請が各4件あった。

選考委員会での書類審査およびプレゼンテーションを実施した結果、3件のスタートアップ助成団体、1件のステップアップ助成団体を決定した。

(単位：円)

助成決定団体	事業名	金額
月ノヒカリ (スタートアップ助成)	「アレルギー×居場所 安心して過ごせるサードプレイス立ち上げ」	500,000 (3年間)
STUDY SPACE 楽園 (スタートアップ助成)	「楽園オルタナティブスクール」	500,000 (3年間)
一般社団法人 L Create (スタートアップ助成)	「ママサポプロジェクト ikigai」	500,000 (3年間)
NPO 法人 ハーモニークラブ	「保育スキルアップサロン～ステキを見つけるイートンルーム」	300,000 (3年間)

(7) 広報活動

①社協だよりの発行

(単位：部)

号	発行日	印刷部数	号	発行日	印刷部数
160	6/1	190,000	161	9/1	190,000
162	12/1	190,000	163	3/1	190,000

※年4回発行、「広報ひらかた」と同時に、市内全戸配布

②ホームページ・SNS (ソーシャルネットワークワーキングサービス) による広報

- ・ホームページを中心に SNS [Facebook・X (旧 Twitter) ・YouTube・LINE・Instagram] を活用した発信を行った。
- ・令和6年3月に Instagram の公式アカウントを開設した。

(8) ひらかた社協ふくしフェスティバル

第12回 ひらかた社協ふくしフェスティバルを開催。市内のボランティアグループや福祉団体、本会の組織会員や公募事業助成基金の助成団体などと連携し、市民に対して福祉を身近に感じてもらえるように、ラポールひらかた全館と枚方市総合文化芸術センターの芝生エリアなどを会場に開催。

(日 時) 令和5年11月23日 (祝) 午前10時～午後3時

(場 所) ラポールひらかた

(主 催) 枚方市社会福祉協議会 (後 援) 枚方市

(共 催) 枚方市総合文化芸術センター

(参加者) 約1,300人

(内 容) *ポッチャ大会「第2回ひらかた社協カップ」を開催

*キッチンカーや模擬店、音楽ライブ、手話パフォーマンスのステージ

*ボランティアグループ、各種団体の活動紹介や啓発 等

(9) 枚方市健康・医療・福祉フェスティバル

枚方市の健康・福祉推進都市宣言の趣旨を踏まえ、『健康づくりの輪を広げよう』をテーマに、市民の健康・医療と福祉に対する意識の高揚を図り、自ら健康づくりを実践する機運を高めることを目的に「第32回枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」を開催。本会も主催者として参画した。

(日 時) 令和5年10月22日 (日) 午前10時～午後3時30分

(場 所) ラポールひらかた

(主 催) 枚方市健康・医療・福祉フェスティバル実行委員会

(枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会、枚方市、枚方市社会福祉協議会)

(後 援) 枚方市教育委員会

(参加者) 延べ 6,684人

(内 容) いろいろ体験コーナー (血液型判定・視力検査・骨密度測定等)、ウォーキングイベント、ひらかた万博「バーチャルスポーツ体験」、模擬店等を実施。

(10) 善意銀行事業

善意銀行金銭口座収支計算書

(単位：円)

収 入		支 出	
前年度繰越金	4,868,961	指 定 預 託	福祉施設団体等 20,000
一般預託	0		
指定預託	20,000		
預金利息	0		
計	4,888,961	計	20,000

収入・支出残金 4,868,961円は、次年度へ繰り越し。

(11) 枚方市民生委員児童委員協議会の運営支援

民生委員・児童委員は住民の身近な相談相手であり、支援を必要とする人と専門機関をつなぐパイプ役を務めている。民生委員・児童委員が地域で円滑に活動が行えるよう、事務局として民児協の運営を支援した。本年度は新型コロナウイルス感染症が5類になり、管外研修や子育てサロンゆりかご等を再開した。再開する際には、時代のニーズに合ったものを検討し、リニューアルを行った。本年度も新たに新しい委員が24人委嘱され新任委員の支援をするとともに、民生委員活動に必要なものとして、高齢者や児童等に関する研修も全ての委員に向けて行った。

実施日	事業内容
4/6	枚方市民生委員・児童委員委嘱状交付式
	新任民生委員児童委員研修会
4/13	役員会・校区委員長会
4/27	会計監査
4月第4週	地区委員会（15地区）
5/8	役員会
5/11	役員会・校区委員長会
5月第4週	地区委員会（15区）
6/8	役員会・校区委員長会
6/15～7/18	認知症サポーター養成講座
6月第4週	地区委員会（15地区）
7/13	地区リーダー管外研修
	研修先「社会福祉法人 滋賀県聴覚障害者福祉協会 びわこみみの里」
7月第4週	地区委員会（15地区）
8/17	夏休み児童映画大会「パディントン」
9/1	民児協ひらかた147号発行
9/14	役員会・校区委員長会
9/21	民児協座談会
8月第4週	地区委員会（15地区）
10/12	役員会・校区委員長会
9月第4週	地区委員会（15地区）
11/9	役員会・校区委員長会
11/13	枚方市民生委員・児童委員大会
	研修 寸劇「成年後見制度とは」
	講師 コスモスおおさか一座
	(公益社団法人コスモス成年後見サポートセンター大阪府支部)
11/15	子育てサロンゆりかごの開催
11/23	「児童虐待防止啓発活動」(ひらかた社協ふくしフェスティバル)
11月第4週	地区委員会（15地区）

12/4	枚方市民生委員・児童委員委嘱状交付式 新任民生委員児童委員研修会
12/14 1 2 月 第 4 週	役員会・校区委員長会 地区委員会（15地区）
1/30 1/31	河北ブロック民生委員児童委員協議会連絡会総会 役員会
2/1 2/2 2/8 2/22 2 月 第 4 週	民児協ひらかた第148号発行 民児協座談会 役員会・校区委員長会 地区委員長研修 地区委員会（15地区）
3/8 3/14 3/21	役員会（予算ヒアリング） 役員会・校区委員長会・総会リハーサル 総会（予算・事業計画）・研修会〔枚方市総合文化芸術センター〕 研修「子どもを育む地域～おとなとしてできること～」 講師：公益社団法人 子ども情報研究センター理事 奥村 仁美 氏

（12）枚方市赤十字奉仕団の運営支援

人間の命と健康、尊厳を守る人道の実現をめざす赤十字運動の推進を図るため、枚方市赤十字奉仕団の運営支援を行った。赤十字運動をはじめ、健康生活支援員養成講習の開催、街頭募金の実施など、広く市民に赤十字活動を啓発することに努めた。

活動資金募集の実績（令和5年5月1日～令和6年3月31日）

枚方市地区分	9,619,152円
府支部直送分	6,674,314円
合 計	16,293,466円

奉仕団活動状況

・役員会 5/23、9/5、3/29に実施

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
5/30	枚方市総合文化 芸術センター別館 (旧メセナひらかた)	連合分団長会議 ・令和4年度赤十字活動資金募集実施状況について ・令和4年度事業報告及び決算報告について ・役員改選 ・令和5年度全体研修開催について	29
6/30	枚方市総合文化 芸術センター別館 (旧メセナひらかた)	枚方市赤十字奉仕団全体研修会 「赤十字社におけるウクライナ人道危機への支援」 をテーマに、大阪赤十字病院国内救援係長河合謙佑 氏、大阪赤十字病院薬剤師仲里泰太郎氏に講演して いただいた。	44
10/16	ラポールひらかた 研修室1	連合分団長会議 ・令和5年度赤十字活動資金の中間報告について ・地域活動助成金について ・枚方市赤十字奉仕団大会について	31
11/14	もりやまエコパーク 環境センター	管外研修 もりやまエコパーク環境センターの視察研修	18

12/6	ラポールひらかた 大研修室	枚方市赤十字奉仕団大会 一部：社長感謝状、金・銀有功章などを、日赤枚方市地区長から表彰状を授与された。 二部：「性的マイノリティについて」をテーマに大阪第二人権擁護委員協議会鹿海由利子氏に講演していただいた。	68
2/26	枚方市総合文化 芸術センター別館 (旧メセナひらかた)	連合分団長会議 ・令和5年度赤十字活動資金募集の報告について ・令和6年度事業計画・予算について ・令和6年度赤十字運動について ・令和6年度能登半島地震への対応について	29

①部会活動状況（役員会は除く）

(ア) 婦人部会

・役員会 4/11、6/21、11/9、2/16に実施

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
5/12	ラポールひらかた 研修室1	婦人部会会議 ・役員改選について ・令和4年度事業報告及び決算報告について ・管外研修について	16
9/15	奈良県営福祉パーク 枚方市東部資源循環 センター	婦人部会管外研修 奈良県営福祉パーク、枚方市東部資源循環センター の視察研修	18
3/7	ラポールひらかた 研修室1	管内研修「声のしくみ、発声について」 学校法人河崎学園大阪河崎リハビリテーション 大学助教和田英嗣氏に講演をしていただいた。 婦人部会会議 ・令和6年度婦人部会事業計画（案）について ・令和6年度婦人部会予算（案）について ・令和6年度赤十字運動について ・婦人部会会員名簿の提出について	19

(イ) 家庭看護部会

※参加協力事業（役員会は除く）

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
4/4	ラポールひらかた 研修室1	くらわんか体操コース	20
4/18	ラポールひらかた 研修室1	ボランティアと心のケア	20
5/16	ラポールひらかた 研修室1	災害時高齢者生活支援員講習	19
6/6	枚方市駅周辺	街頭募金	14
6/20	ラポールひらかた 研修室2	心肺蘇生・AED	18
7/4	枚方市総合文化芸 術センター別館 (旧メセナひらかた)	地域包括ケアシステム	18

10/15	枚方市総合文化芸術センター別館 (旧メセナひらかた)	ボランティアフェスティバル	8
10/3 10/10 10/17 10/24 10/31	枚方市総合文化芸術センター別館 (旧メセナひらかた) ラポールひらかた	赤十字健康生活支援講習支援員養成講習	延べ 22
11/7	ラポールひらかた 研修室1	みんなで力を合わせて安心・安全街づくり(防災編)	16
11/21	ラポールひらかた 研修室1	ケガと急病	18
11/23	ラポールひらかた	ひらかた社協ふくしフェスティバル	13
12/5	ラポールひらかた 研修室4	三角巾・包帯法	16
12/19	ラポールひらかた 研修室2	幼児安全法	14
1/16	ラポールひらかた 研修室1	交流会	21
2/6	堺市防災センター	管外研修	20
3/3	ラポールひらかた	よどがわ防災まつり	8
3/19	ラポールひらかた 研修室2	被災地支援をして思うこと	18

(13) 枚方・交野地区保護司会の運営支援

保護司の職務を支援する組織として枚方・交野保護区(枚方市・交野市)の範囲で活動を行う枚方・交野地区保護司会の事務局として、定期研修(年4回)・理事会・定例会等の定期事業の他に、視察研修(管外研修・管内研修)の調整支援や更生保護関係組織(更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会など)との連携支援、7月を強調月間とする「第73回社会を明るくする運動」の運営支援を行った。

また、地域更生保護活動の拠点でもある「枚方・交野地区更生保護サポートセンター」を運営し、保護司の処遇活動の支援のほか、地域の教育・防犯・社会福祉関係機関や団体との連携、犯罪・非行の予防活動、更生保護関係の情報提供を行った。保護司数は、96人(令和6年3月31日現在)

①定期事業 (総会・定例会・研修事業など)

月日	場 所	内 容
4/12	ラポールひらかた	理事会 *定例会提出案件について
4/20	ラポールひらかた	理事会 *定例会提出案件について
		定例会 *各部からの報告
		部 会 *各部の活動について
5/9	ラポールひらかた	会計監査 *令和4年度 事業報告・決算 監査
5/16	枚方市総合文化芸術センター別館 (旧メセナひらかた)	理事会 *決算総会・定例会提出案件について
5/25	枚方市総合文化芸術センター別館 (旧メセナひらかた)	理事会 *決算総会・定例会提出案件について
		決算総会 *令和4年度事業報告・決算報告・監査報告
		定例会 *第73回社会を明るくする運動について 他
6/16	枚方市総合文化芸術センター別館 (旧メセナひらかた)	理事会 *河北ブロック連絡協議会、更生保護団体合同研修会について 他

6/19	サポートセンターひらかた	新任保護司研修会（令和5年5月25日委嘱者）
6/22	枚方市総合文化芸術センター別館 （旧メセナひらかた）	理事会 *定例会提出案件・定期研修について 他
		第1期定期研修 『就労支援について』
7/19	交野市立保健福祉 総合センター	理事会 *定例会提出案件について
		*第73回社会を明るくする運動（式典・講演会）報告
7/21	交野市立保健福祉 総合センター	理事会 *定例会提出案件について
		*第73回社会を明るくする運動（式典・講演会）報告
		定例会 *第73回社会を明るくする運動（式典・講演会）アンケート報告 他
8/14	交野市立保健福祉 総合センター	各部会 *各部の活動について
		理事会 *【台風第7号の影響により中止】
8/17	交野市立保健福祉 総合センター	理事会 *合同研修会・定例会案件について 他
		合同研修 保護司会・更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会合同研修 『出会いは心の光～障がい者理解と共生社会を考える～』 講師：全盲の落語家 桂 福点 氏
		定例会 *各部の報告について
9/27～28		管外研修 島根あさひ社会復帰促進センター / 岩国刑務所 視察
10/16	ラポールひらかた	理事会 *定例会案件について 他
10/19	ラポールひらかた	理事会 *定期研修・定例会案件について 他
		第2期定期研修 『面接について』
		定例会 *退任保護司紹介・再任保護司委嘱状伝達・各部の報告について
10/31	大阪国際交流センター	令和5年度 大阪更生保護大会
11/13	ラポールひらかた	理事会 *管内研修・新年度行事予算・定例会提出案件について
11/16	更生保護法人 盟親 KIYOMIZU (キヨミズ) 京都東山	管内研修 更生保護法人 盟親 見学
		定例会 *大阪更生保護大会 受賞者表彰状伝達 他
12/8	ラポールひらかた	理事会 *定例会提出案件・定期研修について
12/14	ラポールひらかた	理事会 *定例会提出案件・定期研修について
		第3期定期研修 『刑法等の一部改正等について』
		定例会 *新年互礼会・各部の報告について
R6 1/10	アゴーラ守口	枚方・交野地区保護司会 新年互礼会
2/1	交野市立保健福祉 総合センター	第4期定期研修 『矯正における再犯防止・更生支援の取組』 講師：法務省大阪矯正管区 更生支援企画課 矯正専門職 福谷 海 氏
		定例会 *退任／新任保護司紹介 *再任保護司の委嘱状伝達 *各部からの報告
2/15	ラポールひらかた	予算編成会議 *令和6年度 事業計画・予算（案）について
3/7	ラポールひらかた	理事会 *令和6年度 事業計画・予算（案）について
3/21	ラポールひらかた	予算総会 *令和6年度事業計画・予算（案）について
		定例会 *各部の報告について

②役員調整会議の開催（10回）

5/2・6/6・7/4・8/2・9/4・10/2・11/2・12/4・1/10・2/26

③候補者検討協議会の開催（13回）

[北部] 6/28、9/22、11/29、3/7 [中部] 6/28、11/29 [南部] 5/18、9/12、1/25
[東部] 5/18、1/25 [交野] 6/30、12/8

④更生保護啓発活動

月 日	場 所	内 容
5/9	ラポールひらかた	枚方・交野地区社会を明るくする運動実施委員会 *第73回社会を明るくする運動について

7/3	枚方市総合文化 芸術センター本館	第73回枚方・交野地区社会を明るくする運動 *アトラクション 関西外国語大学吹奏楽部 *式典 *講演 『笑顔でつながる明るい社会』 講師：三遊亭 楽春 氏
7月～9月	*啓発パネルの協賛 908枚 *第73回社会を明るくする運動作文コンテスト(小中学生対象) 応募数 771点 *両市中学3年生に、社明運動ロゴ入りクリアファイル配布 5,600枚 *街頭啓発 京阪・JR各2駅で除菌ウェットティッシュを配布 5,070個	

⑤関係団体との連携・懇談など

- ・関係団体（更生保護女性会、BBS会、協力雇用主会、河北ブロック連絡協議会等）：6回
更生保護女性会 総会（4/27）、河北ブロック連絡協議会（6/26、3/8）、合同研修（8/17）、
BBS会（5/25、10/29）
- ・学校との連携事業：6回
さだ中（7/12）、長尾西中（7/12）、津田中（7/13）
第三中（7/31）、楠葉西中（8/1）、山田中（8/2）
- ・矯正施設との連携：1回
交野女子学院運動会（10/20）

⑥薬物乱用防止教室：2回

- 山田中（8/2）、氷室小（2/29）

⑦広報活動

- ・広報誌「みのり」の発行 第93号（7/1）2,400部、第94号（1/1）3,000部
- ・ホームページの更新
- ・市広報への掲載 「広報ひらかた」 6月号・8月号 「広報かたの」 7月号

⑧更生保護サポートセンターの運営

- ・名称 「枚方・交野地区更生保護サポートセンター（ひらかた・かたの）」
- ・開館日時 サポートセンター（ひらかた）火・水・木・土・日曜日 10時～16時
サポートセンター（かたの）月・火・木・金・土曜日 10時～16時
（年末年始及び国民の祝日、その他会長が指定する日を除く）
- ・所在地 サポートセンター（ひらかた）サンプラザ1号館201号室
サポートセンター（かたの）交野市役所別館2階
- ・開館状況 開館日数 466.5日 企画調整保護司の従事者数 延べ933人
対応件数 273件 来所者数 404人
- ・企画調整保護司会議 枚方開催6回、交野開催5回

(14) 枚方市社会福祉施設地域貢献連絡会の運営支援

市内の社会福祉法人が、連携・協力し、今日的な福祉課題の解決に向けた取り組みを行うことを目的に活動。令和5年度はコロナ禍以前の活動を再開し実施している。例年取り組んでいる施設職員と社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカーと連携した出張相談会（2回延4日間）を実施。会員を対象とした研修会を実施し、法人間でのさらなる連携強化に努めた。

加入法人：58法人（令和6年3月31日現在）

①総会の開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
5/11	ラポールひらかた 大研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 令和4年度 事業報告について ・第2号議案 令和4年度 決算について ・第3号議案 令和5年度 事業計画(案)について ・第4号議案 令和5年度 予算(案)について 	12法人/ 18名 28法人が 委任状

②役員会の開催状況

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
4/26	ラポールひらかた 特別会議室1	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告・決算について ・令和5年度事業計画(案)・予算(案)について ・令和5年度総会の開催について 	8

5/11	ラポールひらかた 特別会議室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会理事候補者の推薦について ・令和5年度総会の開催について 	8
7/7	ラポールひらかた 特別会議室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・総会について（報告） ・パンフレット作成について ・令和5年度会費について ・令和5年度研修会について ・福祉なんでも出張相談会について ・ひらかた社協ふくしフェスティバルについて 	7
9/14	ラポールひらかた 研修室 3	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会（アウトリーチ型研修）について ・福祉なんでも出張相談会について ・ひらかた社協ふくしフェスティバルについて ・会費納入について 	5
11/1	ラポールひらかた 特別会議室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチ型研修会について（報告） ・福祉なんでも出張相談会について ・ひらかた社協ふくしフェスティバルについて ・会費の納入状況について 	8
12/20	和食さと	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当講習会について ・会員研修会について ・福祉なんでも出張相談会（アル・プラザ枚方）について ・啓発資材の作成について ・よどがわ防災まつりについて 	6
2/2	ラポールひらかた 特別会議室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当講習会について（報告） ・アウトリーチ型研修会について ・福祉なんでも出張相談会（アル・プラザ枚方）について ・啓発資材の作成について 	7
2/28	ラポールひらかた 集会室	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも出張相談会について（報告） ・生活困窮レスキュー事業について ・令和6年度総会について 	4
3/12	ラポールひらかた 研修室 3	<ul style="list-style-type: none"> ・よどがわ防災まつりについて（報告） ・アウトリーチ型研修会について ・総会日程について 	7

③研修会等の開催

(単位：人)

月日	開催方法	内 容	出席数
9/14	ラポールひらかた 大研修室	【研修会】 テーマ「社会福祉法人が取り組む地域貢献事業について」 講師：福井県立大学 看護福祉学部 社会福祉学科看護福祉学科研究 教授 奥西 栄介 氏	35
1/29	ラポールひらかた 大研修室	【研修会】 テーマ「応急手当（心肺蘇生法）講習会」 講師：枚方寝屋川消防組合	18
3/12	ラポールひらかた 大研修室	【研修会】 テーマ 「社会福祉施設職員のアンガーマネジメントについて」 講師：Healthy Field 代表 福成 二三代 氏	32

④福祉なんでも出張相談会の開催

月 日	場 所	相談件数
11/7、11/8	イズミヤ枚方	42件
2/21、2/22	アル・プラザ枚方	22件

⑤広報、啓発

- ・ひらかた社協ふくしフェスティバルにおいて地域貢献連絡会の紹介パネル展示と会員施設紹介コーナー、パンフレットの配布、子ども向け災害関連DVDの上映を行った。
- ・よどがわ防災まつりにおいて地域貢献連絡会の紹介パネル展示を行った。
- ・市民向け啓発資材の作成（啓発ボールペン：1,000本）し、出張相談会時に配布した。

（15）冠基金（あなたの想いを届けます基金）事業

寄付者本人の想いを本会が聴き取りながら実現に向けて一緒に考え、具体的な形で市民に届ける基金制度を実施。基金設立のための寄付金は300万円以上としている。令和5年度は下記の2事業を実施した。

①木田基金

令和2年度に設立した木田きせ様（故人）からの遺贈寄付「木田さんからのお祝いプロジェクト」により、経済的に苦しい小学校新入生がいるひとり親世帯を対象に「ランドセル購入補助（上限2万円）」を行い45人の対象者に補助金を支給した。

②幸子基金

令和3年度に幸子様からの寄付により設立した「次世代育成 幸子ファンド助成事業」を実施。令和6年度助成分として枚方市内で若者等を対象に次世代育成に関する事業を行う2団体に助成を決定した。

（1団体につき上限20万円）

2. 住民会費等事業

住民主体の地域福祉活動を進めるため校区福祉委員会を協力窓口とし、校区コミュニティ協議会や自治会等の協力のもと住民会員の募集を行った。なお、募集時には「地域ふくし募金」という愛称を使用した。

集まった募金は校区福祉委員会の活動に対する助成をはじめ、ボランティア活動の支援や本会の広報誌である社協だよりの発行など、「誰もが安心して暮らせるふくしのまちづくり」の推進にむけた各種事業に活用した。

（1）組織会員の状況

組織会員は、本会の事業運営に参画する団体や機関を指す。地域福祉推進の中核機能をはたしており、評議員の選出母体にもなるなど、本会の基本的な構成員である。会員の積極的な加入を呼びかけるとともに、会員を対象とした研修を年1回行った。

①組織会員数 161団体（令和6年3月31日現在）

入会数 3団体
退会数 3団体

②組織会員研修

「チラシ作りのコツを知ろう！」

チラシや広報誌の作成におけるデザインのポイントについて、実演を交えて学んだ。当日は、各地の福祉施設や社会福祉協議会で講義経験のある講師を招いた。

（日 時） 令和6年2月6日（火） 午後2時～4時

（場 所） ラポールひらかた 4階 大研修室

（講 師） Print コーディネーター 代表 窄口 真吾 氏

（参加者） 62人

（2）社協会員募集状況

7月を推進月間とし、実施（募集時には下記の愛称を使用）

募金の種類	人数	詳細
地域ふくし募金 （500円以上）	16,530人	9,291,428円

特別地域ふくし募金	5人	5口	100,000円
企業ふくし募金	85件	96口	960,000円
地域ふくし募金 (500円未満)			4,821,701円
		合 計	15,173,129円

※上記に加え、前年度繰越金994,071円

※前年度募金実績 16,001,272円

(募金の使い道)

校区福祉委員会活動助成(44校区)	7,643,130円
ひらかた社協だより印刷配布費	6,474,885円
ボランティア活動推進費	700,000円
住民会員募集事務経費	1,006,251円
合 計	15,824,266円

※うち651,137円は前年度繰越金を充当

※残金342,934円は次年度に繰越

3. 助成事業

(1) 枚方市福祉団体連絡会 事業報告

①全体会 12回

(単位：人)

日	場 所	内 容	出席数
4/13	第1回 ラポールひらかた 集会室	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回会員交流会について ・令和4年度 事業報告・決算報告について ・令和5年度 事業計画(案)・予算(案)について ・総会について ・要望書提出について ・管内研修について ・その他 	10
5/16	第2回 ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回交流会について(報告) ・要望書提出について(依頼) ・管内研修について ・第2回交流会について ・令和5年度福祉団体助成金の交付について ・その他 	8
6/14	第3回 ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやかカフェについて ・管内研修について ・令和5年度福祉活動助成金(歳末助け合い)の申請について ・福祉バスの利用について ・要望書の提出について ・その他 	9
7/4	第4回 ラポールひらかた ミーティングルーム 1・2	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらかた社協ふくしフェスティバルについて ・枚方市健康・医療・福祉フェスティバルについて ・第2回交流会について ・領収書の処理について ・要望書について ・その他 	10

7/25	第5回 ラポールひらかた 元販売コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・要望書について ・交流会について ・その他 	10
8/25	第6回 ラポールひらかた 元販売コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会について ・要望書について ・その他 	10
9/21	第7回 枚方市総合文化芸術 センター マルチスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回交流会について（報告） ・第3回交流会について ・枚方市健康・医療・福祉フェスティバルについて ・ひらかた社協ふくしフェスティバルについて ・障害者週間啓発イベントについて ・その他 	9
10/20	第8回 ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回交流会について（報告） ・枚方市健康・医療・福祉フェスティバルについて ・ひらかた社協ふくしフェスティバルについて ・障害者週間啓発イベントについて ・さわやかカフェについて ・その他 	10
11/15	第9回 ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらかた社協ふくしフェスティバルについて ・障害者週間啓発イベントについて ・その他 	10
12/20	第10回 ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市健康・医療・福祉フェスティバルについて （報告・感想・反省 等） ・ひらかた社協ふくしフェスティバルについて （報告・感想・反省 等） ・障害者週間啓発イベントについて （報告・感想・反省 等） ・回答会について ・管外研修について ・その他 	9
2/1	第11回 ラポールひらかた 研修室4	<ul style="list-style-type: none"> ・管外研修について ・令和6年度総会について ・助成金（福祉活動助成金・民間バス借上げ助成金） について ・令和6年度第1回交流会について ・その他 	10
3/18	第12回 ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・管外研修について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度第1回交流会について ・令和6年度総会について ・その他 	8

総会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
5/18	ラポールひらかた 3階・研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告・決算・監査報告 ・令和5年度事業計画（案）・予算（案） ・研修会 テーマ「防災」について 講 師 枚方市危機管理室 笠井氏・山崎氏 	36

②企画委員会の開催（年間19回 連絡会役員4人）

連絡会の案件調整及び主催事業の企画・検討を行った。

【開催日】4/5・5/1・6/12・6/29・7/14・8/1・8/3・8/9・8/17・8/23・8/28・9/19・10/11・10/18・11/10・11/30・12/14・1/24・2/21

③認知症カフェ「さわやかカフェ」の開催（年間15回）

【開催日】4/11・4/25・5/9・5/23・6/13・10/24・11/14・11/28・12/12・1/9・1/23・2/13・2/27・3/12・3/26

6月下旬～10月中旬空調設備故障の為、閉室。行事の為、閉室1回（閉室計9回）
会館 7/18～9/24利用中止 空調不良のため

④その他

- ・6月29日 市より昨年度要望に対する進捗状況の説明
- ・8月30日 要望書提出（健康福祉総務課）
- ・12月26日 回答説明会

⑤各事業の開催

（単位：人）

日	場所	内容	出席数
4/14	大阪城周辺 天王寺	第1回 交流会 水都大阪 周遊コース	33
6/29	ラポールひらかた ミーティングルーム	管内研修 特殊詐欺被害について 枚方警察 生活安全課防犯係 前田氏	30
9/8	大阪城周辺	第2回 交流会 水陸両用バスで大阪を巡る旅（ダックツアー）	40
9/30	枚方市 杉	第3回 交流会 芋ほり	27
12/7	ラポールひらかた 大研修室	障害者週間啓発イベント 1部 「ぼぼたん音楽隊」 演奏 2部 映画上映 「老後の資金がありません」 協力 枚方市民生委員児童委員協議会	会員43 一般64 計 107
3/22	京都市	管外研修 京都市市民防災センター	21

（2）ひとり暮らし老人会連絡会の活動支援

校区福祉委員会や民生委員児童委員協議会の援助のもと、各校区に結成された「ひとり暮らし老人会」の連絡調整を図り、校区福祉委員会や関係機関・団体との連携を密にし、組織の充実・強化を行い、ひとり暮らし高齢者の福祉向上を目的とする活動の支援を行った。

【ひとり暮らし老人会設置状況】 令和6年3月31日現在

当該校区福祉委員会数	設置数	会員総数
44校区	29会	882人

①連絡会の開催状況

（ア）役員会 4/21、5/19、6/16、7/21、9/8、10/20、11/17
12/8、1/12、2/20、3/10 計11回

（イ）全体会

（単位：人）

月日	場所	内容	出席数
5/19	ラポールひらかた 研修室1	・令和4年度事業報告及び決算について ・令和5年度事業計画（案）及び予算（案）について ・令和5年度ブロック管外研修・交流研修について ・令和5年度 管内研修について	28

		<ul style="list-style-type: none"> 『やすらぎ』43号の発行について 赤いベレーの今年度の活動について 	
10/20	岐阜関ヶ原古戦場記念館	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度事業実施状況（上半期）について 管内研修会（赤いベレー見学会）について（報告） 交流研修会（認知症予防体操）について 各会の活動について 	26
3/11	ラポールひらかた研修室1	<ul style="list-style-type: none"> 交流研修会（認知症予防体操）について（報告） 令和5年度事業実施状況（下半期）について 令和6年度運営助成金の申請について 各会の活動について 	28

②研修会の開催状況

(ア) 会長・役員研修会（管内研修）

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
10/16	ラポールひらかた大研修室	内 容 「赤いベレー練習風景見学会」 *赤いベレー加入者募集等各会長役員の視察研修	25

(イ) 会長・役員研修会（管外研修）

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
10/20	岐阜関ヶ原古戦場記念館	研修先 岐阜関ヶ原古戦場記念館（岐阜県関ヶ原）	26

(ウ) 交流研修

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
2/6	ラポールひらかた大研修室	内 容 「認知症予防体操」 講 師 北出病院 理学療法士 藤堂 博行 氏	51

(エ) ブロック別交流・研修会

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
7/6	神戸ベイクルーズ アトア水族館	【Fブロック（悠ゆう会）】 神戸ベイクルーズ・アトア水族館見学による会員の交流	38
10/10	神戸ベイクルーズ アトア水族館	【Bブロック（6会）】 神戸ベイクルーズ・アトア水族館見学による会員の交流	28
11/22	神戸ベイクルーズ アトア水族館	【Gブロック（3会）】 神戸ベイクルーズ・アトア水族館見学による会員の交流	31

③小学唱歌を歌う会「赤いベレー」

(ア) 月例開催状況 ・年間11回 正会員238人 準会員144人 賛助会員219人
601人（延べ人数）ラポールひらかた大研修室で活動

(イ) 主催行事 ・友愛訪問 特別養護老人ホーム「里仁館」

※新型コロナウイルスに係る会場使用の自粛要請と感染予防の観点から中止

4. 共同募金配分金事業

(1) 赤い羽根共同募金（令和5年10月1日～令和5年12月31日）

自治会を窓口とした戸別募金や市内の福祉施設における募金箱の設置、法人募金等のほか、ボランティアグループ連絡会の協力を得て、京阪枚方市駅周辺で街頭募金を実施した。また、枚方市健康・医療・福祉フェスティバルでは啓発活動を行った。

募金総額 7,086,829円
※前年度実績 7,564,538円

[共同募金の配分]

大阪府共同募金会からの配分金(令和4年度募金分) 2,139,382円
枚方市内で活動するボランティア団体などに対し助成を行った。

(2) 地域歳末たすけあい募金の実施(令和5年12月1日～令和5年12月31日)

枚方地区募金会と社会福祉協議会との共催で実施。自治会や事業所、社会貢献に取り組むボランティア団体の協力を得て募金活動を実施した。

募金総額 9,210,781円
※前年度実績 9,378,759円

[地域歳末たすけあい募金の配分]

大阪府共同募金会からの配分金(令和4年度募金分) 9,286,039円

(配分内訳)

(単位：円)

ボランティアグループ活動助成	1,028,000
ひとり暮らし老人会運営助成	1,227,600
ひとり暮らし老人会連絡会助成	245,119
福祉団体等活動助成	360,000
地域福祉活動支援助成	3,120,000
居場所づくり支援助成	400,000
テーマ型福祉活動団体拠点確保支援助成	199,203
障害者が店舗等を利用しやすくするための改修助成	100,000
権利擁護と成年後見事業	700,000
福祉理解啓発事業	3,699,547
障害者ウォークラリー事業助成	69,735
小規模災害(火災)助成	225,000
生活困窮者緊急支援助成	51,217
合 計	11,425,421

※「共同募金の配分」「歳末たすけあい募金の配分」含む

5. コミュニティソーシャルワーカー配置(多機関協働等)事業

令和5年度は昨年度に引き続き重層的支援体制整備事業の事業強化に取り組んだ。

アウトリーチ事業では、市内全域にコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置し、身近な地域の福祉相談員として、「どこに相談したらいいかわからない」などの福祉に関する困りごとを抱えた住民への個別支援と、個別の福祉課題を地域の課題として捉える「福祉のまちづくり」の推進に取り組んだ。特に、CSWの強みであるアウトリーチを強化し、伴走型支援としての訪問相談や地域活動での出張相談会の充実に力を入れた。また、個別相談の対応だけでなく、民生委員児童委員協議会の地区委員会、校区福祉委員会が開催するサロン活動にも参加し、地域の課題など活動者からの相談に応じるなど地域支援を行った。

地域づくり事業としては、長年にわたり地域福祉の中心として本会と共に各種地域福祉活動に取り組んでいる校区福祉委員会の活動支援を行った。

多機関協働事業では、行政の各相談機関と連携し、「属性を問わない相談支援等」きめ細やかな支援体制に取り組みながら、重層的支援体制整備事業やCSWの啓発活動を通じて連携強化を図った。

参加支援としては、「ルファルひらかた社協」1階の地域交流スペースを活用し、昨年度に引き続き「クラカフェ」や「スマカフェ」を実施するほか、夏祭りやクリスマス会も実施し、ルファルひらかた社協の啓発活動に取り組んだ。

(1) アウトリーチ事業

①要援護者に対する相談・セーフティネット体制

要援護者の生活・心身の状況及び家族等の実態を把握し、地域団体・専門機関とともに、見守りやサービス等の調整、複合する課題を抱えた人や公的サービスだけでは対応できない人への支援体制づくりに向けて取り組んだ。

(ア) 年間相談者数 977人

(イ) 年間相談件数 (重層的支援体制整備事業対応ケース含む) (単位: 件)

【相談対象者別】	新規相談件数	継続相談件数 (新規含む)
高齢者	330	1,366
(うち) 1人暮らし高齢者	158	736
(うち) 高齢者のみの世帯	121	376
(うち) 上記以外の高齢者	51	254
障害者	160	1,558
(うち) 身体障害者	25	196
(うち) 知的障害者	29	212
(うち) 精神障害者	106	1,150
子育て中の親子	52	244
ひとり親家庭の親子	35	181
青少年(39歳以下)	73	552
DV被害者	7	20
ホームレス	3	4
外国人(中国帰国者を含む)	4	29
中高年、40歳以上	190	1,367
地域活動者・住民	152	618
その他(上記以外)	123	266
合 計	1,129	6,205

【相談内容別】 ※重複該当を含む	新規相談件数	継続相談件数 (新規含む)
福祉制度・サービスに関する相談	277	1,699
生活に関する身近な相談	315	1,990
病気や健康・障害・医療に関する相談	153	916
収入・生活費に関する相談	199	1,036
仕事探し・就労に関する相談	26	181
財産管理・権利擁護に関する相談	37	179
消費者被害に関する相談	3	11
債務に関する相談	17	129
DV・虐待に関する相談	23	111
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	219	804
住まいに関する相談	83	683
子育て・子どもの教育に関する相談	44	271
近隣、地域との関係について	48	193
ひきこもり・不登校について	37	257
人権・差別について	3	6
家族との関係について	54	326

食べるものがない	72	274
介護のことについて	23	54
仕事上の不安やトラブルについて	6	19
家賃やローンの支払いについて	11	51
その他（上記以外）	67	279
合 計	1,717	9,469

- (ウ) ケース検討会等の随時開催
(エ) 身近な所で相談できる出張相談会（市内24か所）の開催
〔定例相談会〕 校区福祉委員会等が開催するサロンや拠点施設で定例の相談コーナーを開設。
中部6か所/北部6か所/南部7か所/東部4か所/市内全域1か所

② C S W事業の推進体制

関係機関・団体等の会議に参加、連携を図り、事業推進のための体制づくりを行った。

- (ア) C S W配置事業定例会(枚方市・枚方市社会福祉協議会)の開催(12回)
(イ) C S W事例検討会の開催(6回)
(ウ) 社会福祉施設地域貢献連絡会との連携
(エ) 多職種連携会議・研修会への参加
(オ) 介護予防日常生活支援総合事業への参加・参画
(カ) 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議への参加
(キ) 枚方市自立相談支援センター支援調整会議への参加
(ク) ファミリーポートひらかた地域連絡会への参加
(ケ) 府・市関係各課及び地域の関係機関・団体等との連携

③ 広報・啓発活動

- (ア) 社協だよりにPR記事掲載(6月)
(イ) 各校区福祉委員会発行の広報紙にC S Wの啓発記事を掲載
(ウ) 啓発資材の作成と配布
活動事例集 1,000部・啓発チラシ 5,000枚・ティッシュ 4,000個

(2) 多機関協働事業

① 相談窓口・多職種連携会議

C S Wが日常的に連携している各関係機関を対象に連携会議を実施。講演会や事業紹介を通じて、グループワーク形式で「居場所づくり」「参加支援」について議論した。

月日	場所	内容
9/21	枚方市総合文化芸術センター別館 (旧メセナひらかた) 大会議室	講演 孤立・孤独と社会的支援 講師 龍谷大学現代社会学科 教授 山田 容 氏
3/18	ラポールひらかた 大研修室	事業紹介 枚方市が実施する参加支援事業 ①枚方市社会福祉協議会 ②ステップフォワード

② 重層的支援体制整備事業

健康福祉部 健康福祉総合相談課と連携し、取り組んだ。

- ・定例会議の開催(年12回)

③ 啓発活動

重層的支援体制整備事業の取り組み状況やC S Wの役割等の事業紹介を行った。

月日	場所	内 容
8/22	さだ生涯学習市民センター	他職種連携(第7圏域) 「C S Wって? 重層って?」
9/20	ひらかたくすの木	知的障害者ネットワーク会議

		「CSWから見た重層的支援体制整備事業」
1/10	地域包括支援センター みどり	第8圏域連携会議 「社協が実施する参加支援事業」
1/18	ワークショップちやぶ	第5圏域連携会議 「CSWから見た重層的支援体制整備事業」
3/8	市立ひらかた病院	入退院ネットワーク会議 「身寄りのない方へのCSWの関わり」
3/27	リモート	介護支援専門員資質向上研修(法定外研修) 「CSWから見た重層的支援体制整備事業」

その他、民生委員児童委員協議会の地区委員会等でCSWの役割等の啓発活動を実施した。

(3) 参加支援事業（居場所づくり）

ルファルひらかた社協を活用し、ひきこもりの方などの社会参加を支援するためのクラカフェを開催。令和5年度はコラボ企画にも力を入れ、長期休みの子どもの閉じこもり予防としてのイベントや認知症マフの取り組みなども実施した。

①クラカフェの実施

開催回数 50回 延べ参加者 370人

②スマカフェの実施

開催回数 10回 延べ参加者 14人

出張スマカフェ

日時：令和6年1月18日(木)10時～12時 場所：ひらかた聖徳園 参加者：5人

③ルファルひらかた社協での取り組み

ルファルひらかた社協の啓発及び世代間交流の目的で地域活動センターゆい、地域包括支援センター社協ふれあいと協働で開催した。

○夏まつり

日時：令和5年8月10日(木)13時～17時

内容：館内で、わなげやヨーヨー祭りなどを実施した。

○ルファルひらかた社協クリスマス会

日時：令和5年12月25日(月)13時～16時

内容：地域のコーラスの方を招いてのライブやマジックショーを開催した。

館内で、スタンプラリーやゲームなども実施した。

(4) 地域づくり事業（校区福祉委員会協議会）

高齢者・障害（児）者・子育て中の親子などが地域で安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支えあい活動を小地域で行う体制を構築することを目的とし、校区福祉委員会を中心に展開した。加えて、活動を支える担い手の養成や研修、相互交流等の機会を設けた。

① 役員会開催状況

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
4/28	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度事務局体制について 令和5年度地域ふくし募金について 令和4年度校区福祉委員会協議会事業報告について 令和4年度校区福祉委員会協議会関係決算報告について 市民憲章を推進する会 運営委員の選出について 「社会を明るくする運動実施委員会」について 校区福祉委員会協議会役員改選について 	7
7/10	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度いきいきサロン健康サポーター養成講座について 令和5年度赤い羽根共同募金について こども福祉新聞について ボランティアセンター運営委員会の推薦について 	8

9/20	枚方市総合文化 芸術センター別館 (旧メセナひらかた) 第6会議室	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度いきいきサロン健康サポーター養成講座について(報告) 令和5年度歳末たすけ合い運動について 校区福祉委員会の助成金について 	7
11/20	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> 地域ふくし募金の中間報告について 第7次枚方市地域福祉活動計画の策定について 会長・活動者研修会について 	8
3/6	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度地域ふくし募金について 令和5年度歳末たすけあい募金について 令和6年度校区福祉委員会協議会事業計画(案)について 令和6年度校区福祉委員会協議会予算(案)について ひとり暮らし老人会運営助成金に関する書類の提出について 校区献血について 関西医科大学看護学部 実習について 校区福祉委員会活動に関する書類の提出について 	8

② 代表者会議開催状況

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
5/22	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度事務局体制について 令和5年度地域ふくし募金について 特殊詐欺・被害防止について 令和4年度校区福祉委員会協議会事業報告について 令和4年度校区福祉委員会協議会関係決算報告について 校区福祉委員会協議会役員改選について 各種委員の推薦について 	39
12/12	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度地域ふくし募金の中間報告について 第7次枚方市地域福祉活動計画の策定について 京阪枚方市駅献血ルームの啓発について 今後の研修会について ① 会長・活動者研修会 ② 小地域ネットワーク活動リーダー研修【録画配信】 	36
3/19	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> 第一層協議体「ひらかたいすプロジェクト」について 関西医科大学看護学部 実習について 令和5年度地域ふくし募金について 令和5年度歳末たすけあい募金について 令和6年度校区福祉委員会協議会事業計画(案)について 令和6年度校区福祉委員会協議会予算(案)について ひとり暮らし老人会運営助成金に関する書類の提出について 校区献血について 校区福祉委員会活動に関する書類の提出について 令和6年度地域ふくし募金事業「校区福祉委員会活動助成」及び「地域福祉活動支援助成」助成金の申請・請求手続きについて 	42

③各エリア会議開催状況

(ア) 北エリア会議

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
7/3	牧野生涯学習市民 センター 集会室1	<ul style="list-style-type: none"> 北エリア事業計画について 各校区の福祉活動についての意見交流会 	17

		・令和5年度北エリア管外研修について	
9/25	もりやまエコパーク 環境センター	【管外研修】 もりやまエコパーク環境センターの視察研修	16
2/19	牧野生涯学習市民 センター 集会室4	・意見交流会 (子育てサロン・いきいきサロン・世代間交流について) ・令和6年度北エリア事業計画(案)について	15

(イ) 中エリア会議

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
9/5	枚方市役所 第3分館 (旧市民会館) 第4会議室	・研修会「手話講座」 講師 枚方市ボランティアグループ連絡会代表 SLG あおぞら副代表 大橋 三郎 氏	23
2/1	ラポールひらかた 大研修室	・講義 「特殊詐欺被害防止」について 講師 枚方警察署 生活安全課 防犯係 中川氏 交通係 岩下氏 ・情報交換会(活動状況と活動に関する課題等) ・令和6年度中エリア管外研修について	21

(ウ) 南エリア会議

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
8/7	枚方市総合文化 芸術センター別館 (旧メセナひらかた) 第7会議室	・南エリア事業計画について ・各校区の福祉活動についての意見交流会 ・令和5年度南エリア管外研修について	20
10/17	大阪府庁	【管外研修】 ・大阪府庁の視察研修 ・大阪府の里親制度についてテーマ学習	22
1/31	ラポールひらかた 研修室1	・令和6年度南エリア事業計画(案)について ・各校区の福祉活動についての意見交流会	23

(エ) 東エリア会議

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
10/4	津田生涯学習市民 センター 第3集会室	・講義「特殊詐欺被害防止」について 講師 交野警察署 生活安全課 防犯係 香川氏 ・研修会「手話講座」 講師 枚方市ボランティアグループ連絡会代表 SLG あおぞら副代表 大橋 三郎 氏 ・各校区の福祉活動についての意見交流会	24
2/9	津田生涯学習市民 センター 第1会議室	・令和6年度東エリア事業計画(案)について ・各校区の福祉活動についての意見交流会	22

(5) 研修会開催状況

①校区福祉委員会会長、活動者研修会

(単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
2/29	枚方市総合文化 芸術センター別館 (旧メセナひらかた) 大会議室	【講演会】 テーマ「高次脳機能障がいについて」 講師 高次脳機能障がい当事者・家族会「あまのがわ」 代表 長谷川 孝 氏 竹宮 恭子 氏	100

②いきいきサロン健康づくりサポーター養成講座 (単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
8/25	ラポールひらかた 大研修室	健康づくり介護予防活動を取り入れるための「認知症す ごろく」体験 講師 枚方市 健康福祉総合相談課	51

③小地域ネットワーク活動リーダー研修会 (大阪府社会福祉協議会主催) (単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
2/15 ～ 3/31	録画配信	【基調講演】 テーマ「地元で働く方と地域住民の協働で創る地域福祉」 講師 ふくしと教育の実践研究所 SOLA 主宰 新崎 国広 氏 【実践報告】 ・吹田市より「アパート火災避難者支援について」 ・阪南市より「みんなの食堂の活動について」	23

(6) 小地域ネットワーク活動推進事業 (校区福祉委員会活動支援)

①各校区の地域福祉活動の推進

市内全44校区福祉委員会が、各校区の地域特性に応じて住民主体で取り組む小地域ネットワーク活動を行った。

(ア) 個別援助活動

- ・地域で支援を必要とする人に対する見守り・声かけ訪問
- ・外出することが困難な人へ食事を提供するとともに、安否確認などを行う配食活動

(イ) グループ援助活動

- ・高齢者等を対象に、住民の憩いの場づくりとしてのいきいきサロン活動
- ・子育て中の親子が集まり、親同士の交流等を行う子育てサロン活動
- ・住民全般を対象とした世代間交流活動
- ・高齢者や障害者、性別、年齢などに関係なく地域の誰もが集える共生型サロン活動

(ウ) 校区福祉委員会等活動

- ・福祉講座やボランティアスクール等、地域住民に対する福祉啓発活動
- ・担い手の養成等を目的とした各種研修会の開催

(7) 関西医科大学との連携

関西医科大学看護学部看護学科からの実習協力要請に応え、今年度も「生活看護論実習Ⅰ及びⅣ」の履修者を対象に、各校区福祉委員会の協力を得て、地域での実習受け入れを行った。

【受け入れ人数】1年生延べ197人、4年生延べ430人

【受け入れ期間】6月～12月

(8) その他の活動

- ・地域ふくし募金への協力 (7月) ・歳末たすけあい運動への協力 (12月)
- ・献血街頭キャンペーンへの参加 (7月、12月)

6. ボランティア活動推進事業

枚方市ボランティアセンターでは、身近なボランティア活動に参加しやすい環境を整えるため、ボランティア体験プログラムや各種講座、イベント等を計画し実施した。センターに登録しているボランティアやグループは、未だ福祉施設での活動を制限されているため、施設以外での活動も含めて途切れることなく活動が継続できるよう支援した。また、登録ボランティアを対象とした研修会も開催した。

(1) 枚方市ボランティアセンター事業

①ボランティアセンター開所状況

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	20	20	22	20	22	20	21	20	21	21	20	20	247

② ボランティアセンター利用状況 (延べ件数)

利用者(個人・団体)	件数
現任ボランティア・グループ	828
学 生	30
一般市民(主婦・シニア等)	484
地 域 (福祉委員会・民生委員・自治会等)	173
学校・教育関係	37
福祉施設・医療関係	104
行政・他市社協	183
その他団体	186
計	2,025

利用方法	件数
来 所	1,176
電 話	849
計	2,025

③ 利用内容 (延べ件数)

内 容	件 数
ボランティア活動相談	298
ボランティア依頼相談	292
各種情報提供	980
ボランティア保険相談・問い合わせ	208
サロン・講座・交流	358
計	2,136

※重複相談含む

④ ボランティア/ボランティアグループ登録状況 (年度更新制)

登録ボランティアグループ	83 団体	新規登録グループ数	8 団体
--------------	-------	-----------	------

⑤ 枚方市ボランティアセンター運営委員会開催状況 (単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
7/20	枚方市立文化芸術 センター別館 (旧メセナひらかた)	・令和4年度ボランティアセンター事業報告 ・令和5年度ボランティアセンター事業計画 ・意見交換等	10
3/15	ラポールひらかた 研修室1	・令和5年度ボランティアセンター事業報告 ・令和6年度ボランティアセンター事業計画(案) ・意見交換等	13

⑥ ボランティアグループ連絡会の活動状況

現在、市内29団体で構成し、各団体が情報交換・連携を図りながら活動を展開。また、「大阪府市町村ボランティア連絡会」の総会や研修交流会等にも参加している。

(ア) 枚方市ボランティアグループ連絡会

連絡会の開催 (4/3・6/1・8/1・10/2・12/1・2/1)

役員会の開催 (4/15・5/27・7/29・11/7・1/23・3/11)

総会の開催 (4/3)

赤い羽根共同募金 (10/2、3)

枚方市ボランティアフェスティバル打ち合わせ

(4/14・4/18・5/10・5/26・6/20・6/21・7/26・8/23・9/11・10/6)

枚方市ボランティアフェスティバル (10/15)

枚方市健康・医療・福祉フェスティバル (10/22)

ひらかた社協ふくしフェスティバル (11/23)

(イ) ボランティア交流会の開催状況

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
1/15	ラポールひらかた 大研修室	枚方市ボランティアグループ連絡会交流会 「これからのボランティア活動について」	29

(ウ) 大阪府市町村ボランティア連絡会への参加

- 総会に参加 (5/29)
- テーマ別研修会 (12/18)
- 代表者会議 (2/19)

⑦ ボランティア関係機関との連携

- (ア) 大阪府社協担当者会議 (8/4)
- (イ) 他市社会福祉協議会との情報交換や交流
 - ・河北ブロックボランティア交流会 開催地：寝屋川市 (11/28)
 - ・河北ブロックボランティア担当者会議 開催地：枚方市 (11/30)

⑧ 情報提供、啓発活動の状況

- (ア) 冊子等の発行
 - ・ボランティアセンターのパンフレット配布
 - ・ボランティアグループ一覧表の配布
- (イ) 情報媒体への提供・協力
 - ・社協だより、広報ひらかた
 - ・市社協及び府社協等関係機関のホームページ等
- (ウ) 各種機器、機材の貸与事業
 - ・白杖・アイマスク 14件
 - ・車椅子 17件
 - ・高齢者疑似体験 3件

⑨ ボランティアセンターホームページの運営

ボランティア情報の更新、助成金関連の情報掲載、ボランティアの募集依頼の掲載等行った。

(2) ボランティア・市民活動者・育成支援

① ボランティア・市民活動講座

- ・6月8日(木) 布の手作りおもちゃ講習会
- ・7月28日(金) ルファルひらかた クラフトカフェ子ども企画 輪ゴム鉄砲づくり
- ・8月4日(金) ルファルひらかた クラフトカフェ子ども企画 スポンジパズルづくり
- ・12月5日(火) 市民講座 「だれでも簡単！姿勢調整体操」
- ・令和6年2月6日(火)・13日(火)・20日(火)・27日(火) (全4回)
傾聴ボランティア養成講座
- ・令和6年3月4日(月) 第7回 健康講座「健康に過ごすための食事と睡眠」

② 小中学生及び地域住民への福祉体験講座を実施

- ・市内小学校や中学校などで福祉体験講座を実施
車いす体験講習13校、アイマスク・白杖体験15校、高齢者疑似体験3校
- ・施設、地域住民向けの福祉体験講座を実施
車いす体験講習6件、アイマスク・白杖体験1件、ボランティア講座2件

③ 2023 ちょいボラ体験

期間：令和5年5月1日～令和6年3月15日
参加団体：9団体
参加者：延べ15人

(3) 災害時の支援体制づくり

災害ボランティアセンターの設置・運営訓練の実施や、災害時支援ボランティアの養成ではリモートやICTツール(Google フォーム)を積極的に取り入れ、災害時に活かせる支援体制づくりを行ってきた。また、よどがわ防災まつりを開催し、市民の防災意識の向上及び平時からの関係機関同士の連携強化に努めた。

① 災害時要援護者避難支援事業の実施

枚方市の委託を受け、校区コミュニティ協議会や民生委員児童委員協議会の協力による、災害発

生時に自力で指定避難場所まで避難することが困難な高齢者や障害者を対象とした登録受付、登録者リストの作成を行い、支援体制づくりをすすめた。

〈要援護者登録状況〉 826人 (男性 207人 女性 619人)

65歳以上の高齢者 734人、障害者 92人 (令和6年2月末現在)

②よどがわ防災まつり開催

市民に防災意識向上や平時からさまざまな機関同士がつながり、いざという災害時に連携するために、行政や企業、NPO法人、学校などが集まり、防災イベントを開催した。

防災食のサンプル配布、防災グッズの展示、VR・AR災害体験、防災に関するワークショップなどのブースを企画した。

日時 令和6年3月3日(日) 10時～15時

場所 ラポールひらかた

参加団体 24団体

来場者 650人

③災害ボランティア現任研修 (よどがわ防災まつりと同時開催)

テーマ「災害現場を支えるー日本赤十字社の災害対応と裏側ー」

日時 令和6年3月3日(日) 13時30分～14時30分

講師 日本赤十字社大阪府支部 救護課 ボランティア・青少年係長 嘉成 義彰 氏

会場 ラポールひらかた 研修室1

参加者 31人 (よどがわ防災まつりの来場者含む)

④災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーションの実施

例年行っている災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーションでは枚方市が主催するひこ防'Zに参加し、災害ボランティアの登録やニーズの受付はICTツール(Googleフォーム)を活用し、スムーズな運営に取り組んだ。また、受付からコーディネート、活動、活動報告までの流れを体験した。

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
10/14	ラポールひらかた 研修室1、2	【テーマ】市内を震源とする大規模災害(地震)を想定・ 災害ボランティアセンター運営訓練	60

7. 献血推進事業

少子高齢社会が進行するなか、血液製剤の国内自給を目指して献血協力者の拡大と400ml献血の献血者を安定的に確保するべく事業を実施している。令和5年度は新型コロナウイルス感染症による影響が残った中だったが、可能な範囲で活動を実施した。また、枚方市駅献血ルームの啓発活動として関係機関・団体等の協力により市内全域にポスターを掲示し献血推進に努めた。

(1) 事業内容

①献血推進協議会開催状況

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
6/21	枚方市役所 第3分館 (旧市民会館) 第3会議室	<ul style="list-style-type: none"> 副会長の選出について 枚方市献血推進協議会設置要綱の変更について 令和4年度枚方市献血推進協議会事業報告及び令和5年度事業計画について 枚方市駅献血ルーム献血実績について 令和5年度夏期献血街頭キャンペーン実施計画(案)について 	17
10/31	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度夏期献血街頭キャンペーン結果報告について 令和5年度冬期献血街頭キャンペーン実施計画(案)について 	18

		<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市献血推進協議会上半期献血実績について ・枚方市駅献血ルーム上半期献血実績について ・血液センター北大阪事業所上半期献血実績について 	
--	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

②研修会開催

6月21日（水）テーマ：「血液事業の現状」

講師：大阪府赤十字血液センター北大阪事業所
事業課長 川口 広志 氏

参加者：献血推進協議会委員17人

③街頭キャンペーン実施状況

京阪枚方市駅前献血ルーム周辺で、献血推進協議会委員・枚方市校区福祉委員会会長が、ティッシュペーパーを配布しながら献血協力を呼びかけるなどの啓発を行った。

(単位：人)

	実施日	場所	啓発参加者数	受付者数	採血者数
夏期	7月11日	京阪枚方市駅献血ルーム前	33	54	46
冬期	12月5日	京阪枚方市駅献血ルーム前	31	37	32

【実施時間】

夏期：午前10時～10時45分 午前11時00分～11時45分

冬期：午前10時～10時45分 午前11時00分～11時45分

④校区福祉委員会との連携

校区福祉委員会と連携し、16校区において17回献血を実施した（うち、半日実施は5回）。広報活動として、PR用チラシの配布（全戸配布用・回覧用）とポスターの掲示を行った。

枚方市駅献血ルームの冬期啓発ポスター掲示の協力を呼びかけ、献血推進の啓発を行った。

⑤関係機関・団体等との連携

関係機関・団体等との連絡調整を図り、組織的・効果的な献血推進活動を行った。

(2) 枚方市献血実績 (単位：人)

実施区分 (域)	受付者数	採血者数	採血者内訳			回数	主催団体 実施場所等
			400ml	200ml	成分		
街頭	937	793	773	20	0	18回	樟葉駅前
		84.6%	97.5%	2.5%	0.0%		
学域	881	647	485	162	0	22回	大学・高等学校等
		73.4%	75.0%	25.0%	0.0%		
職域	1,069	950	914	36	0	42回	事業所・病院 市役所等
		88.9%	96.2%	3.8%	0.0%		
地域	557	469	431	38	0	17回	校区福祉委員会
		84.2%	91.9%	8.1%	0.0%		
献血者計 (小計)	3,444	2,859	2,603	256	0	99回	街頭～地域の合計
		83.0%	91.0%	9.0%	0.0%		

献血ルーム	15,911	14,695	5,906	140	8,649	枚方市駅献血ルーム
		92.4%	40.2%	1.0%	58.9%	
総合計	19,355	17,554	8,509	396	8,649	採血車・献血ルームの合計
		90.7%	48.5%	2.3%	49.3%	

(採血者数下の%は、受付者数に対する割合。採血者内訳下の%は、採血者数に対する構成比。)

8. 福祉サービス利用援助事業

利用者及び利用希望者（関係機関を含む）からの金銭管理に関する相談に対応し、必要に応じて「ひらかた権利擁護成年後見センター」と連携をとりながら相談対応を行った。また、サービス利用者の状況により成年後見制度への移行を進めた。

(1) 事業概要

①目的

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人に対し、自立した地域生活を送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理などを行うことにより、権利擁護に資することを目的とする。

②実施事業

- (ア) 福祉サービスの利用援助（情報提供、相談、代行・代理等）
- (イ) 日常的金銭管理（日常管理通帳・印鑑の管理、公共料金等の支払い代行等）
- (ウ) 書類等の預かり（印鑑、各種証書等を貸金庫に保管）
- (エ) 監査委員会の運営（年2回開催）
- (オ) 関係機関との連携

③職員体制

専門員2人

生活支援員（サポーター）8人（うち5人は週5日 7時間45分、3人は4日 5時間）

(2) 実績

①サービス提供状況（契約件数141件）

（単位：件）

	実利用者数	内貸金庫利用者	内訳	
			新規	解約
認知症高齢者	32	4	5	9
知的障害者	49	11	9	5
精神障害者	60	23	10	8
計	141	38	24	22

※解約理由：死亡10件/成年後見3件/本人希望2件/施設入所4件/他市転居3件

②専門員稼働状況

（単位：件）

専門員	問い合わせ	初回相談	訪問
	42	47	137

※訪問（初期訪問、ガイドライン調査、相談援助訪問等）

（単位：件）

生活支援員	訪問			手続代行等
	金銭授受	身上監護	計	
	2,597	271	2,868	

9. 精神保健福祉推進事業

心に悩みのある人のための電話相談やセルフヘルプグループ等の支援、自殺の予防や防止に向けた市民啓発の推進と各種情報提供を行った。

(1) 精神保健福祉推進事業

①セルフヘルプグループや家族会への活動支援

こころの病の当事者グループ「ひらりの会」、心に病をもつ人の家族の会「わかちあう会」、自死遺族わかちあいのつどい「ふきのとうの会」、「枚方断酒会」の活動支援を行った。

②こころの電話相談の支援

実施日時：毎日（1月1日・2日を除く）午前10時～午後4時

相談員：研修を経た相談員 55人 交代制

実施日数：363日

相談件数：4,230件

(2) 枚方市自殺予防対策事業

自殺予防に係る専用相談電話の設置や自殺予防の役割を担う人材の養成、市民への情報提供や啓発を

推進することにより、自殺を思い悩む人への支援体制の充実を図った。

①電話相談支援事業（ひらかた いのちのホットライン）

自殺予防に係る専門の研修を修了した者が、専用の電話相談「ひらかた いのちのホットライン」において、不安や悩みを抱え自殺を思い悩む相談者の思いを傾聴し、受け止めることにより、その苦悩を軽減することを目的に電話相談を行った。

- ・実施日時 毎週月・水・金曜日 午後1時～午後8時（1月1日、2日を除く）
- ・相談従事者 枚方市が実施する相談従事者育成のための研修を修了した者
- ・実施日数 155日・相談件数 1,281件

②人材養成事業

電話相談支援事業に従事する相談員の養成およびゲートキーパーを養成するための研修を実施。

(ア) フォローアップ研修

電話相談員のスキルアップを図り、相談事業の充実を目的に傾聴の研修を行った。

- ・ケース・スタディ研修 44回 448人
- ・リーダー研修 11回 54人
- ・特別研修 1回 24人

(イ) ゲートキーパー養成研修

自殺のサインに気づき、見守りや必要に応じて適切な専門相談機関へつなぐ役割を担う人材を養成することを目的に「ゲートキーパー養成研修」を開催した。

「令和5年度 ゲートキーパー養成研修」

【第1回目】

日 時 令和5年12月20日（水）14時30分～16時00分
場 所 枚方市 第3分館 第3会議室
講 師 東布施野田クリニック 院長 野田 哲朗 氏
対 象 枚方市役所職員
参 加 者 104人

【第2回目】

日 時 令和6年1月31日（水）14時30分～16時00分
場 所 ラポールひらかた 4階 大研修室
講 師 東布施野田クリニック 院長 野田 哲朗 氏
対 象 一般市民
参 加 者 67人

③普及啓発事業

9月の自殺予防対策週間や3月の自殺対策強化月間において、デジタルサイネージを活用した啓発キャンペーンを実施した。また市民に対する自殺予防についての啓発を行うとともに、改めて「命」について考えていただくことを目的に普及啓発講演会を開催した。

(ア) 「令和5年度 デジタルサイネージ」

- 1回目 日 時 令和5年9月4日（月）～9月17日（日）
場 所 京阪電車 枚方市駅構内
- 2回目 日 時 令和6年2月26日（月）～3月24日（日）
場 所 京阪電車 枚方市駅構内

(イ) 「令和5年度 普及啓発講演会」

日 時 令和6年3月2日（土）13時30分～15時30分
場 所 ラポールひらかた 4階 大研修室
テーマ 「たすけて」が言えなくて～子どものSOSを大人に伝えたい～
講 師 子どものSOS シンガーソングライター 悠々ホルン 氏
対 象 一般市民
参加者 53人

(ウ) 勤労者向けリーフレット「はたらくあなたへ 無理してませんか？」を作成

勤労者向けに不安や悩みを相談できる相談機関等を記載したリーフレットを3000部作成。

10. 生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉および社会参加の促進を図ることを目的として、生活福祉資金貸付事業を実施した。

令和5年1月から新型コロナウイルス感染症特例貸付の償還が開始され償還困難者からの相談が増加しており、大阪府社会福祉協議会や枚方市自立相談支援センターと連携したフォローアップ支援を行った。

(1) 総合支援資金

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	3	2	2	2	0	3	0	0	5	2	0	2	21
窓口相談	1	2	3	1	0	1	1	0	0	2	4	2	17
貸付申請	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(2) 福祉資金

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	21	31	35	78	107	80	68	43	55	45	67	50	680
窓口相談	6	24	21	23	30	38	15	13	14	8	22	13	227
貸付申請	0	7	4	5	9	10	0	2	3	4	4	3	51

(3) 緊急小口資金

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	35	37	31	36	32	44	69	54	38	63	55	82	576
窓口相談	11	19	9	11	6	8	11	14	5	14	31	18	157
貸付申請	2	0	3	3	2	5	3	5	1	4	3	3	34

(4) 教育支援資金

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	34	9	18	16	28	30	33	56	70	60	95	79	528
窓口相談	23	2	10	7	5	17	12	17	29	8	32	31	193
貸付申請	4	1	0	0	0	1	7	4	5	1	10	9	42

(5) 不動産担保型生活資金（要保護世帯向け不動産担保型生活資金を含む）

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	1	4	4	3	3	7	11	1	2	0	4	2	42
窓口相談	0	0	2	0	0	4	6	1	1	1	3	1	19
貸付申請	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3

(6) 新型コロナウイルス感染症 特例貸付フォローアップ支援

(単位：件)

①個々の状況に配慮した償還猶予等の案内（償還免除対象外の借受人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	9	13	24	54	153	158	123	127	153	113	70	75	1,072
窓口相談	16	8	23	32	32	30	28	25	30	13	11	21	269
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

チラシ等の発送	1	0	0	0	36	0	99	0	58	15	44	1	254
猶予申請	21	15	29	26	8	19	18	13	8	4	11	6	178
少額返済申請	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

②訪問等のアウトリーチによる生活再建に向けた支援（償還滞納者（催告通知発送）への対応）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談							58	88	43	93	72	43	397
窓口相談							3	7	1	5	4	2	22
訪問							0	8	10	13	13	19	63
チラシ等の発送							1	5	19	6	44	2	77

※令和5年10月より府社協から償還滞納者へ催告通知書の送付開始

③借受人へのフォローアップ支援（償還免除決定者への対応）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	0	2	1	3	3	2	11	23	22	28	14	3	112
窓口相談	1	0	0	2	3	0	0	5	7	4	5	10	37
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チラシ等の発送	0	0	0	0	0	0	0	35	89	278	200	84	686

④償還免除申請に未応答の借受人へのフォローアップ支援

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	469	572	658	158	10	7	41	70	37	37	62	83	2,204
窓口相談	20	24	25	15	5	0	0	5	2	2	8	12	118
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チラシ等の発送	1	0	0	0	0	1	0	6	3	3	1	1	16

1 1. 乳児家庭全戸訪問事業

市内に在住する生後4カ月までの乳児のいる家庭を対象に、有資格者または子育て支援活動の経験がある訪問員が訪問し、子育てについての不安や悩みを聴き、子育て支援に関する情報提供等を行った。

令和5年度は、国が定める「伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業」により、保健師による新生児家庭訪問が増加した。

(1) 訪問件数

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
訪問家庭数	52	35	17	4	5	12	6	8	9	7	9	11	175

※訪問家庭数は、保健師による新生児家庭訪問を除いたもの

(2) 訪問員

- ・訪問員数 47人（令和6年3月31日現在）
- ・訪問員の要件 ①保育士等の有資格者 ②子育て支援活動の経験のある者

(3) 訪問員研修会の開催状況

事業の目的を理解し、訪問員としての基礎的な知識の習得と資質の向上を図ることを目的に訪問員研修を実施した。(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
6/9	サンプラザ生涯 学習市民センター 視聴覚室	1部 「赤ちゃん訪問の経験談や地域等での活動」について 講師 金澤 栄子 氏 2部 関係機関からの情報提供	33
12/8	サンプラザ生涯 学習市民センター 視聴覚室	1部 「最近の保育事情」について 講師 常称寺保育園 岩田 公子 氏 2部 関係機関からの情報提供	20

(4) 運営会議・ケース会議の開催

本事業に関わる関係各課（子育て未来部・子ども総合相談センター・保健センター）が参画し、事業に関する連絡調整及びケース対応検討を目的に毎月開催。

開催日： 4/19, 5/23, 6/20, 8/22, 10/19, 12/14, 3/21

(5) 相談員の設置

相談員として保育士資格者1人配置し、訪問時に作成する訪問個表の提出期間中等に、訪問員に助言や指導を行った。

12. 13. 地域包括支援センター事業（第1圏域・第2圏域）

本会は、市内の地域包括支援センター13か所の内、第1圏域（社協こもれび）と第2圏域（社協ふれあい）を担当し、介護予防・日常生活支援総合事業、介護予防支援事業に取り組んだ。

介護予防・日常生活支援総合事業の一環としての元気づくり・地域づくりプロジェクトは、第1・2圏域5校区のうち、4校区で取り組まれており、残りの校区でも第2層協議体の立ち上げに向けて話を進めている。

社協こもれびでは、圏域の高齢者居場所同士の情報共有や活性化を図るため、居場所部会の交流について話し合いを進めている。

社協ふれあいでは、障害者の施設職員を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、高齢者だけでなく、障害者の関係機関との連携構築にも努めた。

地域包括ケアシステム構築のため、医療・保健・福祉の各専門職が顔をそろえる「多職種連携研究会」を開催し、また、第1・第2圏域合同での介護事業所懇談会を開催し、より広域での関係機関とのさらなる連携強化に取り組んだ。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業として、国保データベース（KDB）システム等を活用し、地域の健康課題の整理・分析を行い、健康教育・健康相談（ポピュレーションアプローチ）の実施や、健康状態不明者への個別の支援（ハイリスクアプローチ）、地域高齢者の疾病予防や重症化予防及びフレイル予防の促進に取り組んだ。

(1) 介護予防プラン作成

① 第1圏域（社協こもれび）

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	116	116	125	132	132	140	140	140	148	156	159	153	1,657
委託	176	172	172	168	175	164	162	162	157	151	149	146	1,954
月計	292	288	297	300	307	304	302	302	305	307	308	299	3,611

③ 第2圏域（社協ふれあい）

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	102	99	104	104	104	109	114	123	130	139	139	137	1,404
委託	206	201	198	192	190	189	190	192	188	186	199	192	2,323
月計	308	300	302	296	294	298	304	315	318	325	338	329	3,727

(2) 総合相談

①第1圏域（社協こもれび）

（単位：件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	79	94	96	118	112	103	102	95	104	117	105	110	1,235
来所	39	41	37	46	35	25	47	43	40	34	26	32	445
訪問	28	16	18	21	42	39	21	23	28	26	23	24	309
その他	2	4		1		3	2		3	1	3	1	20
月計	148	155	151	186	189	170	172	161	175	178	157	167	2,009

*新規・継続を含めた件数

②第2圏域（社協ふれあい）

（単位：件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	137	122	124	121	192	150	177	165	170	142	162	152	1,814
来所	19	22	15	29	25	20	13	15	7	24	12	21	222
訪問	23	24	17	23	26	25	23	28	35	14	23	13	274
その他	0	0	52	4	36	55	1	21	2	3	1	1	176
月計	179	168	208	177	279	250	214	229	214	183	198	187	2,486

*新規・継続を含めた件数

(3) 各種事業の実施

①高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

(ア) 第1圏域（社協こもれび）

- ・ポピュレーションアプローチ2回実施
- ・樟葉北校区（11/22、2/20）
- ・健康状態不明者への個別支援（ハイリスクアプローチ）訪問実施数（延べ）65件

(イ) 第2圏域（社協ふれあい）

- ・ポピュレーションアプローチ4回実施
- ・樟葉西校区（7/20、12/15）、牧野校区（6/9、10/9）
- ・健康状態不明者への個別支援（ハイリスクアプローチ）訪問実施数（延べ）60件

②介護予防普及啓発事業（高齢者元気はつらつ健康づくり事業）

(ア) 第1圏域（社協こもれび）

- ・新型コロナウイルスによる開催自粛のため、令和5年度は開催なし。

(イ) 第2圏域（社協ふれあい）

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
6/15	ふれあい会議室	ノルディック教室	9
11/20	ふれあい会議室	転倒予防教室	11
11/30	ふれあい会議室	ノルディック教室	10

③地域ケア会議・事業所懇談会等

(ア) 第1圏域（社協こもれび）

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
4/26	社協こもれび会議室	居宅介護支援事業所懇談会	15
5/24	ロクト整形わたなべ	第1・第2圏域合同待合室懇談会	13
6/8	南楠葉会館	認知症を知り地域で守る	42
6/13	デ・ルッソ衣料品店	はじめてのハンドケア教室	19
6/15	社協こもれび会議室	自立支援型地域ケア会議	14
8/10	社協こもれび会議室	空き家問題と空き家の管理活用方法について	2
8/17	社協こもれび会議室	自立支援型地域ケア会議	10
8/29	楠葉生涯学習市民センター	第1圏域元気づくり地域づくり会議（第20回）	25
9/12	個別地域ケア会議	個別地域ケア会議	9
9/20	関西記念病院	第1・第2圏域合同居宅介護支援事業所懇談会	16
10/19	社協こもれび会議室	自立支援型地域ケア会議	12

10/31	枚方信用金庫くずは支店	第1圏域民生委員との交流会	16
11/2	茶の根	オレンジカフェ（お茶を使って料理を楽しむ）	12
11/16	茶の根	オレンジカフェ（折り紙教室）	3
11/28	楠葉生涯学習市民センター	第1圏域元気づくり地域づくり会議（第21回）	25
12/6	楠葉中町住民宅	認知症出前講座	10
12/7	茶の根	オレンジカフェ（抹茶の淹れ方・綿帽子ツリー制作）	11
12/14	楠葉生涯学習市民センター	多職種連携研究会	33
12/21	社協こもれび会議室	自立支援型地域ケア会議	10
12/21	楠葉生涯学習市民センター	民児協地区委員会での情報提供・注意喚起	55
1/16	楠葉生涯学習市民センター	毎日できる健康づくり	9
1/24	楠葉生涯学習市民センター	居宅介護支援事業所懇談会	29
1/25	社協こもれび会議室	多職種連携事務局会議	6
2/16	社協こもれび会議室	自立支援型地域ケア会議	10
2/21	社協こもれび会議室	個別地域ケア会議	8
2/29	楠葉生涯学習市民センター	第1圏域元気づくり地域づくり会議（第22回）	20

(イ) 第2圏域（社協ふれあい）

（単位：人）

月 日	場 所	内 容	出席数
5/11	社協ふれあい会議室	自立支援型地域ケア会議	12
5/22	社協ふれあい会議室	個別地域ケア会議	12
5/24	ロクト整形わたなべ	第1・第2圏域合同待合室懇談会	13
6/20	社協ふれあい会議室 リモート併用	介護保険事業所合同連絡会	37
6/30	楠葉生涯学習市民センター	樟葉西校区元気づくり・地域づくり会議	18
7/13	社協ふれあい会議室	自立支援型地域ケア会議	13
9/14	社協ふれあい会議室	自立支援型地域ケア会議	12
9/20	関西記念病院	第1・第2圏域合同居宅介護支援事業所懇談会	16
10/10	関西医大くずは病院	個別地域ケア会議	12
10/17	楠葉生涯学習市民センター	居宅介護支援事業所懇談会	16
10/30	楠葉生涯学習市民センター	樟葉西校区元気づくり・地域づくり会議	23
11/9	社協ふれあい会議室	自立支援型地域ケア会議	9
11/27	社協ふれあい会議室	多職種連携研究会事務局会議	7
12/7	カフェカミュウ	居宅介護支援事業所懇談会	5
1/24	楠葉生涯学習市民センター	第1・第2圏域合同居宅介護支援事業所懇談会	29
2/21	楠葉生涯学習市民センター	多職種連携研究会	34
3/4	牧野生涯学習市民センター	牧野校区地域ケア懇談会	26
3/4	牧野生涯学習市民センター	牧野校区民生委員懇談会	14
3/14	社協ふれあい会議室	自立支援型地域ケア会議	11

④地域介護予防活動支援（出前教室、認知症サポーター講座など）

(ア) 第1圏域（社協こもれび）

場 所	内 容
北船橋町集会所	北船橋町喫茶つどい 出張相談 4/24・6/24・9/23・10/28・12/23・2/24
中楠葉集会所	中楠葉ふれあいカフェ 出張相談 4/26・5/12・5/19・8/21・2/16・2/19
朝日美咲自治会集会所	あさみ歌のつどい 出前講座 4/12・6/14・7/12・8/9・9/13・10/10・11/14・12/13・1/10・2/13・3/12
朝日美咲自治会集会所	出前講座 2/14

南楠葉集会所	出張相談・演芸サロン 5/11・7/6・9/14・11/9・
楠葉野会館	いきいきサロン・出張相談・オープンカフェ 5/16・7/18・9/19・10/18・12/19・3/19
楠葉野田公民館	公民館カフェ 5/22
野田北集会所	樟寿会 出前講座 8/23
町楠葉福祉会館	出前講座（認知症予防・運動教室等） 5/2・6/6・9/5・10/10・11/14・2/13
茶の根	出張相談 1/18・2/15・3/21

(イ) 独自介護予防活動 こもれび教室・こもれびサークル (単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
4/13	社協こもれび会議室	こもれび教室「ノルディックポール」	9
5/11	社協こもれび会議室	こもれび教室「栄養は命の源です」	17
6/9	社協こもれび会議室	こもれび教室「違いのわかるコーヒーはいかが」	16
7/12	社協こもれび会議室	こもれび教室「お口の健康を保ちましょう」	13
8/10	社協こもれび会議室	こもれび教室「空き家のことまるわかり勉強会」	12
9/14	社協こもれび会議室	認知症サポーター養成講座	10
10/13	社協こもれび会議室	こもれび教室「これからの生活設計とお金の管理」	8
11/9	社協こもれび会議室	こもれび教室「ガラスアート」	7
12/14	社協こもれび会議室	こもれび教室「はじめてのハンドケア」	10
1/12	社協こもれび会議室	こもれび教室「認知症サポーターステップアップ講座」	9
2/8	社協こもれび会議室	こもれび教室「姿勢を良くして若々しく」	13
3/14	社協こもれび会議室	こもれび教室「音楽で介護予防」	15
4～3月	社協こもれび会議室	毎週火曜日（くらわんか体操 自主グループ）	47回
4～3月	社協こもれび会議室	毎週水曜日（くらわんか体操 自主グループ）	48回

(ウ) 第2圏域（社協ふれあい） (単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
4/11	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	10
5/16	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	10
5/18	センチュリー4番館集会所	健康講座「認知症予防」	22
6/13	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	10
6/17	枚方総合文化芸術センター	認知症サポーター養成講座（民児協と共催）	86
6/25	牧野北住宅集会所	サロンひまわりで出張相談	30
6/27	くずは並木自治会館	おしゃべり広場『ホッと くず西』 出張相談	21
7/11	社協ふれあい会議室	健康講座「熱中症予防と睡眠について」	13
7/11	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	11
7/28	京都銀行牧野支店	出前講座「人生会議について」 聖徳園と共催	12
8/8	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	11
8/22	くずは並木自治会館	おしゃべり広場『ホッと くず西』 出張相談	21
9/9	カフェカミュ	オレンジカフェ 出張相談	10
9/12	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	10
9/15	センチュリー6番館集会所	健康教育「認知症予防」	13
9/24	牧野北住宅集会所	サロンひまわりで出張相談	40
10/10	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	11
10/17	障害者施設とうかえで	認知症サポーター養成講座	22
10/18	社協ふれあい会議室	健康講座「転倒予防」	23
10/22	牧野北住宅集会所	サロンひまわりで出張相談	30

10/23	社協ふれあい会議室	まんてん栄養教室	24
10/26	障害者施設とうかえで	認知症サポーター養成講座	19
11/7	三菱UFJ銀行くずは支店	出前講座「認知症の人への接し方について」	13
11/14	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	11
11/26	牧野北住宅集会所	サロンひまわりで出張相談	40
12/1	牧野北住宅集会所	健康講座「腸活とフレイル予防」	15
12/7	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	10
12/24	牧野北住宅集会所	サロンひまわりで出張相談	50
1/16	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	10
1/22	社協ふれあい会議室	健康講座「認知症予防（ファイブコグ）①」	13
1/23	くずは並木自治会館	おしゃべり広場『ホッとくず西』出張相談	23
1/28	牧野北住宅集会所	サロンひまわりで出張相談	40
2/13	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	11
2/15	センチュリー4番館集会所	健康講座「脳と腸のトレーニング」	22
2/19	社協ふれあい会議室	健康講座「認知症予防（ファイブコグ）②」	13
2/25	牧野北住宅集会所	サロンひまわりで出張相談	40
2/27	くずは並木自治会館	おしゃべり広場『ホッとくず西』出張相談	23
3/12	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	10
3/15	センチュリー4番館集会所	健康講座「フレイル予防」	24
3/17	くずは西美郷	出前講座「体力測定」	10
3/24	牧野北住宅集会所	サロンひまわりで出張相談	40

- ・ひらかた夢かなえるエクササイズ オンラインによるサテライト開催を実施
社協ふれあい会議室にて月2回（第2・4金曜日の午前）
- ・ひらかた元気くらわんか体操の啓発
養父元町公園にて、月・水・金9時30分から開催（雨天中止）

⑤実習生の受け入れ

- （ア）第1圏域（社協こもれび） 関西医科大学、大阪医専
- （イ）第2圏域（社協ふれあい） 大阪医専、摂南大学

（４）地域密着型サービスの運営推進会議出席

- ①第1圏域（社協こもれび）※照会での開催を含む
 - ・グループホーム「くずは丘」運営推進会議に出席
 - ・小規模特別養護老人ホーム「くずは美郷」の運営推進会議に出席
 - ・地域密着型通所介護「一心」の運営推進会議に出席
 - ・地域密着型通所介護「ロンジュヴィテ125」の運営推進会議に出席
- ②第2圏域（社協ふれあい）
 - ・小規模特別養護老人ホーム「くずは西美郷」の運営推進会議に出席
 - ・小規模多機能ホーム「まきの美郷」の運営推進会議に出席
 - ・地域密着型通所介護「レコードブック樟葉」の運営推進会議に出席
 - ・グループホーム「のぞみ」運営推進会議に出席

（５）地域包括支援センター関係者会議出席

市内13か所の地域包括支援センターを円滑に運営するため、全体会議・保健師部会・社会福祉士部会・主任介護支援専門員部会・認知症施策推進委員会が定例で開催され、担当者が出席した。

14. 居宅介護等事業

障害者総合支援法に基づく居宅介護事業、介護保険法による訪問介護事業を行った。事業全体の内、介護保険事業の割合は6.6%となっている。本会は利用者の意思及び人格の尊重とサービスの一層の充実を図るため、差別解消や虐待防止にも思慮し、毎月2回のサービス提供責任者会議およびヘルパー

会議を行い、個別研修は年間8回行った。ヘルパーの意欲や質の向上をより高めるため、利用者サービスの心構えや危険を未然に防ぐ方法など、現任のヘルパーを対象に研修会を実施した。ヘルパー会議では個別ケースをヘルパー間で共有し、注意点の確認を行った。ヘルパー業務の見直しや環境の整備等を検討するために業務改善委員会を設置し、2か月に1回を基本に委員による協議を行った。

また、事業者が連携し障害者総合支援法を推進する「枚方市障害福祉サービス事業者連絡会」の役員として利用者主体のサービスのあり方を確認するなど、中心的な役割を担った。

(1) 利用者（契約）状況

ホームヘルプ事業の新規契約者は3人（知的1人、児童1人、介護保険1人）、契約解除者は10人（身体4人、知的4人・精神2人）であった。

新規契約の利用理由は、親亡き後、住み慣れた地域で自立するための支援や介護者の負担軽減を含めた生活基盤の安定のための支援、障害者総合支援法から介護保険へ移行による再契約である。解約の理由は、死亡、利用者都合などである。3月現在の契約者は全体で83人となっている。利用者の内訳は、知的が39人で最も多く、身体15人、精神17人、児童4人、難病1人、重度訪問介護2人、介護保険5人となっている。

ホームヘルパーは6人（再雇用の2人を含む）雇用をすることができたが、フルタイムで稼働できる人材は少ない状況。退職者もありヘルパー不足は変わらず人材の確保は継続的な課題である。

利用者の生活に応じた支援のためヘルプ時間は早朝夜間に集中し、障害に起因する疾病等で入院を繰り返すケースや、家族の高齢化等により通院介助が必要になったケース、一人暮らしとなって介護の必要性が増したケースが多くあった。在宅生活を希望される方には本人の意向に寄り添い、ケース会議を開く等、他機関との連携を行い支援した。

(単位：人)

月	障害者総合支援法					重度訪問 介護	介護保険法	事業合計
	居宅介護						訪問介護	
	身体障害者	知的障害者	児童	精神障害者	難病			
4	18	42	4	19	1	2	4	90
5	18	42	3	19	1	2	4	89
6	18	42	3	19	1	2	4	89
7	17	42	4	19	1	2	4	89
8	17	40	4	19	1	2	5	88
9	16	40	4	19	1	2	5	87
10	16	40	4	19	1	2	5	87
11	15	40	4	19	1	2	5	86
12	15	40	4	19	1	2	5	86
1	15	40	4	18	1	2	5	85
2	15	40	4	18	1	2	5	85
3	15	39	4	17	1	2	5	83

※新規契約者は月末に解約者は月初にカウント

※4月に児童利用者が成人した為、5月以降は児童→身体でカウント

※居宅介護と訪問介護の両方の利用者1人はそれぞれでカウント

※8月に知的利用者が介護保険に移行した為、9月以降は訪問介護でカウント

(2) 利用時間

ホームヘルプ事業の利用時間は、月平均1,794.4時間で、昨年度と比して79.4時間の減となった。内訳は障害福祉サービスにおいて、身体介護は110時間の減、家事援助は50時間の減、通院介護は6時間の増、重度訪問介護は0.5時間の減。介護保険は居宅介護の利用者が介護保険へ移行したことで利用時間が75時間の増となっている。

(単位：時間)

月	ホームヘルプ事業利用時間								合 計
	障害者総合支援法居宅介護事業 (身体・知的・児童)			通院介護		介護保険訪問介護事業			
	家事援助	身体介護	重度訪問介護	身体介護		生活援助	身体	身体→生活	
				伴う	伴わない				
4	342.4	1,180.3	85.7	81.3	18.8	12.0	48.6	24.0	1,793.1
5	367.9	1,264.3	102.1	63.4	14.6	14.4	55.4	27.0	1,909.1
6	352.5	1,189.6	81.8	113.1	19.6	13.0	52.0	27.0	1,848.6
7	323.5	1,142.5	91.0	82.4	28.0	13.3	52.6	25.5	1,758.8
8	324.0	1,139.0	90.0	82.4	23.9	13.0	60.3	33.0	1,765.6
9	319.1	1,180.8	79.0	81.4	13.6	13.2	69.6	57.5	1,814.2
10	293.9	1,170.0	84.8	99.2	24.9	13.2	66.6	56.5	1,809.1
11	315.0	1,152.6	89.7	123.7	18.0	13.2	71.2	57.2	1,840.6
12	318.9	1,161.0	83.5	89.5	24.4	13.0	69.3	56.5	1,816.1
1	311.0	1,134.1	74.2	84.9	25.3	14.3	69.6	58.3	1,771.7
2	303.3	1,087.7	56.0	82.9	13.5	12.4	64.5	54.5	1,674.8
3	292.2	1,159.6	56.4	69.7	17.3	13.0	66.7	56.9	1,731.8
合 計	3,863.7	13,961.5	974.2	1,053.9	241.9	158.0	746.4	533.9	21,533.5

月平均 利用時間	1,794.4時間	総合支援ホームヘルプ約1,674.6時間 介護保険ホームヘルプ約 119.8時間
-------------	-----------	---------------------------------------------

(3) ホームヘルパー現任研修

【全体研修】

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
10/15	ラポールひらかた 大研修室	前期研修『地域生活における利用者と ヘルパー間のコミュニケーション ～適切な距離感を保つには～』 講師：自立生活夢宙センター 馬場 直樹氏	38
3/17	ラポールひらかた 研修室1	後期研修『危険予知～予防対策の実践～』 講師：佐藤 照夫 (サービス提供責任者) 松本 智之 (サービス提供責任者)	36

【個別研修】

(単位：人)

5/16	ラポールひらかた 研修室2	『障害者の現状における一面 ～関係者として観ておくべき課題～』	15
5/21	ラポールひらかた 研修室2	『自閉症への理解に必要なことがら ～クマのプーさんの話から共に学ぶ～』	14
7/16	枚方市総合文化芸術 センター別館 (旧メセナひらかた) 第7会議室	『事例検討に沿ってグループワーク』	18
7/18	枚方市総合文化芸術 センター別館 (旧メセナひらかた) 第5会議室	『第1部 障害者施策の経緯 第2部 ホームヘルプにおける失敗談 ～介護現場におけるヒューマンエラー～』	12

11/19	ラポールひらかた 研修室 2	『知的障害者とのコミュニケーション』	1 5
11/21	ラポールひらかた 研修室 1	『良いヘルパーとは?』	1 4
1/16	ラポールひらかた 研修室 1	『知的障害者の地域生活支援を考える』	1 3
1/21	ラポールひらかた 研修室 1	『もし自分が病気や事故で障害をおい利用者として介護を受けることになったなら・・・』	1 6

15. 移動支援事業

障害者総合支援法に基づく市町村事業である地域生活支援事業の移動支援事業(ガイドヘルプ事業)として余暇活動、事業所及びショートステイ施設・入所施設への送迎等のサービスを行った。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5月より5類に移行したが、感染がなくなったわけではなく感染拡大の時期にはキャンセルが増え、安定した派遣には至らなかった。それでも、ガイドヘルパーの皆さんの工夫やスタッフとの連携で行先を厳選し安全の配慮を重ねながら、利用者の余暇の機会を確保することができた。本事業は単なる余暇支援ではなく、利用者が地域で暮らすための生活支援の一端を担っているため関係機関との連携を積極的に行い、必要に応じてサービス調整会議を開催した。また、感染防止に努めながらガイドヘルパー現任研修会を実施し、資質の向上に努めた。

ガイドヘルパーの確保は社協ホームページや社協だよりに掲載するとともに大学に働きかけ募集チラシを設置したところ、15人が新たに登録した。課題となっている若年層と男性ガイドヘルパーについては若干名ではあるが登録があった。

(1) 利用(契約)者状況

移動支援事業では、新規契約者は5人。契約者は3月末現在、307人で今年度については月平均155人の利用があった。解約者は3月末で4人となっている。本会への契約希望者は多く、移動支援の利用のニーズの高さが伺えるが、現状の利用者へのサービスの質及び量の確保のため、緊急の場合を除いて新たな契約者を制限している。今年度については3月末で8人が契約待機者となっており、これらの人を受け入れる努力を行ったが待機の解消には至らなかった。その他、精神障害のある人で知的障害との重複者については知的障害者に含めている。

(単位：人)

月	移 動 支 援 事 業				合 計
	身体障害者	知的障害者	児 童	精神障害者	
4	1 4	2 9 3	2	0	3 0 9
5	1 3	2 9 3	2	0	3 0 8
6	1 3	2 9 3	2	0	3 0 8
7	1 3	2 9 4	2	0	3 0 9
8	1 3	2 9 2	2	0	3 0 7
9	1 3	2 9 2	2	0	3 0 7
10	1 3	2 9 4	2	0	3 0 9
11	1 3	2 9 3	2	0	3 0 8
12	1 3	2 9 3	2	0	3 0 8
1	1 3	2 9 3	2	0	3 0 8
2	1 3	2 9 2	2	0	3 0 7
3	1 3	2 9 2	2	0	3 0 7

(新規契約者は月末に解約者は月初にカウント)

(2) 利用時間

市町村事業である移動支援事業は、他市のように1か月の区切りで時間が制限されるのではなく3か月で150時間というように利用時間を調整できるニーズに即した利用しやすい制度となっている。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したものの、感染拡大が度々あった影響で全面的な回復とはならなかった。昨年度に比べ利用再開に至る利用者は微増している。

総利用時間は、47,349.75時間で月平均3,945.8時間。昨年度と比較して月平均約23時間の増となった。

例年、利用の多い8月に感染拡大となり、それに伴うキャンセル・利用時間の短縮が多数発生したが、昨年と同様利用者の家族の高齢化のため週末もガイドヘルプサービスを利用して過ごされる方・利用者本人の強い希望による支援の依頼件数は減らなかった。

そのため、新規利用者の受け入れを制限せざるを得ない状況等も続いている。本事業については、ニーズの多様化は継続しており、なくてはならない支援の一つとなっている。

(単位：時間)

移動支援事業						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
4,020.25	3,988.75	3,863.50	4,055.00	3,779.50	3,943.25	3,964.75
11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均利用時間
3,899.50	4,063.00	3,824.75	3,714.25	4,233.25	47,349.75	3,945.8

(3) ガイドヘルパー現任研修会

月日	場所	内容	出席数
3/12	ラポールひらかた 大研修室	テーマ：「ガイドヘルプはクリエイティブ」 講師：(社福)世光福祉会 中西昌哉氏	64人
3/22			38人

16. 地域活動支援センター(ゆい)事業

「地域支援センターゆい」は、障害のある人の地域生活を支援することを目的に、地域活動支援センターI型事業や障害者相談支援事業を実施した。

新型コロナウイルスが5類に移行し、徐々に行事やサロン活動も活発化する中、多くの方がサロンを利用した。センター利用者やボランティアの交流、憩いの場としてのサロン活動をとおして相談活動にも対応した。いろいろプログラムでは調理や外出を再開。津田地域の協力を得て津田集会所での出張相談会及びサロンも実施した。「ルファルひらかた社協」啓発事業として8月10日に夏まつり、12月25日にはクリスマス会を実施した。障害のある人が悩みや不安などを話し合う「学習会」や住民参加型の健康増進イベントとして「わいわいウォークラリー」を開催した。

障害者相談支援事業では、電話、来所、訪問相談等、障害のある人やその家族からの相談に対応した。基幹型相談支援センターとして虐待ケースや支援困難ケースにも枚方市はじめ各関係機関等とも連携して支援を行った。今年度は8050問題の家族支援や精神障害、発達障害のある人や児童の相談が増加した。初めての企画として社会福祉法人に限らず市内障害者グループホームを対象とした世話人研修会を開催した。

「枚方市自立支援協議会」にも参画。枚方市知的障害者福祉ネットワークで作成した啓発チラシを枚方市や関係機関とも連携し、障害当事者と共に配布した。障害者施策に関する検討や提案も行った。

(1) 地域活動支援センター事業 I型

	基礎的事業			I型事業		
	創作活動	生産活動	その他	医療・福祉及び地域との連携のための調整	地域住民・ボランティア育成	障害に対する理解促進を図るための普及活動
合計	438人	115人	4,457人	71回	154人	12回

(2) ジョイジョイサークル活動・当事者の集い

(単位：人)

事業名	開催月	参加者数	ボランティア数	内容
ジョイジョイサークル	4月	16	0	ミーティング

(市内在住・就労の知的障害のある人を対象にレクリエーションを中心としたサークル活動)	5月	18	3	ボウリング
	6月	13	4	ミーティング
	7月	7	24	ふれあいスポーツ交流会
	8月	15	0	ミーティング
	9月	13	2	外出活動(海遊館)
	10月	13	2	わいわいウォークラリー
	11月	17	4	外出活動(石清水八幡宮)
	12月	12	4	ジョイフルクリスマス会
	1月	21	3	新年会
	2月	17	0	学習会・ミーティング
	3月	19	4	日帰り旅行(滋賀農業公園ブルーメの丘)
	合計(延べ人数)		181	50

(3) 学習会

(単位:人)

月 日	開催テーマ	参加者人数	支援者等	合計
2/18	いっしょに学ぼう いっぱい語ろう	39	19	58

(4) わいわいウォークラリー

(単位:人)

月 日	参加者人数	支援者等	ボランティア	合計
10/29	81	42	10	133

(5) グループホーム世話人研修会(自立支援協議会:生活部会)

(単位:人)

月 日	内 容	参加人数
2/28	緊急時の対応・応急手当について	24

(6) 障害者相談支援事業

(単位:人)

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒不安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援
相談件数	1,001	37	378	81	8	265
	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他
相談件数	152	393	66	67	26	29
合計(のべ件数)						2,503

17. 障害者活動支援事業

障害のある人の社会参加や交流する機会として、各種レクリエーション行事を開催した。

「ふれあいスポーツ交流会」は、団体代表の当事者委員による実行委員会をもとに開催されているが、新型コロナウイルスの影響で3年前から参加団体数が減少しており、通常開催が困難であった。5類に移行したことで、参加数も6事業所と前年度よりは増加、3年ぶりに終日開催とし、競技内容も個人種目・団体種目と安全面に配慮しながら開催した。団体が減少している分、個人参加の参加者が多かったが、新型コロナウイルス感染拡大前に近い形で実施した。アトラクションで吹奏楽部が花を添えてくれた。

「ジョイフルクリスマス会」は、今年度は93人の応募があり、イベント当日の参加者は89人であった。参加者を交えたオープニングセレモニーを開催し、コーラスやダンスなど参加型のアトラクションを楽しみ、新しい試みとしてプレゼント抽選会なども行った。

(単位：人)

事業名	開催日	参加者数	ボランティア数	内容
ふれあいスポーツ交流会	7/15	157	24	レクリエーション行事 KTM 河本工業総合体育館 《アトラクション》 ○大阪府立牧野高等学校 吹奏楽部
ジョイフルクリスマス会	12/17	89	4	レクリエーション行事 ラポールひらかた 《アトラクション》 ○コールウィステリア ○マジシャンクラブ M ○NPO 法人ハーモニッククラブ ○スターダスト河内

18. 共同生活援助事業

利用者が安心して地域生活を送ることができるよう、4か所のグループホーム「れいんぼう」「ひまわり」「憩い苑ホーム」「たんぼぼ」の運営を行った。

各グループホームともに、高齢化が進み、通院が必要な利用者の増加、また、高齢者施設への移行を検討するなど生活スタイルの変化に対応した。その際、障害分野だけでなく高齢分野や医療機関等の関係機関との連携も行った。

グループホームの運営を担う世話人の資質向上・育成を目的とした全体研修会、世話人の在り方など世話人の基礎を学ぶ新任研修を行った。あわせて、実習回数を増やし学ぶ機会を充実させた。また、自己点検アンケートを実施し、一人ひとりの日常の仕事についての振り返りを行った。

支援の質の向上のため利用者アンケートを実施し、課題点を把握することで運営の改善を図った。

グループホーム世話人研修

(単位：回/人)

項目	内容	場所	回数	参加者(延べ)
世話人初任者研修	世話人のあり方(現地実習)	各グループホーム	14	14
世話人内部研修	利用者の支援について個別支援計画等	各グループホーム	52	304
世話人内部研修	食中毒について(動画)	ラポールひらかた	1	11
世話人内部研修	障害者差別解消法について	ラポールひらかた	1	18
世話人外部研修	枚方市グループホーム世話人研修会 テーマ：「グループホーム世話人の役割と利用者支援について」 講師：北摂杉の子会 レジデンスなさはら 足立優菜氏・濱田あゆみ氏	ラポールひらかた	1	103
全体世話人会議(研修)	虐待防止、感染予防	ラポールひらかた	1	12

19. 成年後見等事業

成年後見制度に関して、パンフレットの見直しや講演会等を行い、広報・啓発を実施するほか、個別の相談対応や申立書類の書き方、手続きに関する説明や助言などを行った。法的課題や専門的知識が必要となる複雑なケースは、弁護士、司法書士、社会福祉士の専門職による無料の専門相談や、各相談支援機関等からの要請に基づき、枚方市内の支援チームの会議等に、権利擁護支援や成年後見制度に精通した専門職(弁護士・司法書士・社会福祉士)を派遣する専門職派遣事業を行い、課題整理や成年後見制度利用の必要性の判断、今後の方針等についての助言・支援を行った。

また、事業の円滑かつ適正な運営、権利擁護支援システムの推進及び検討等を行う「ひらかた権利擁護成年後見センター運営委員会」、専門職団体や枚方市内の関係機関が自発的に協力する体制づくりを

進める「枚方市地域連携ネットワーク協議会」、日々相談業務にあたる支援者を中心とした「相談支援部会」も定期的に開催し、チーム支援の現状や課題についての共有、また、枚方市内で権利擁護支援を進める際に「社会資源の把握」「高齢・障害等の制度理解」「多職種とのスムーズな連携」がイメージでき、適切な支援に役立ててもらうことを目的とした事例集作成について検討を重ねた。

さらに、市民後見人の養成や資質向上について枚方市及び大阪府社会福祉協議会と連携しながら実施したほか、市民後見人向け情報紙の作成や後見活動に対しても継続的な支援を行った。

(1) 成年後見制度に関する相談・支援

① 主たる相談者

(単位：件)

相談者内訳	件数	相談者内訳	件数
本人	96	友人・近隣住民等	4
家族・親族	380	金融機関	0
支援関係者	302	その他(匿名)	28
合計		810	

② 対象者(重複あり)

(単位：件)

対象者内訳	件数	対象者内訳	件数
認知症高齢者	330	精神障害者	113
知的障害者	38	その他	329
合計		810	

③ 相談内容(重複あり)

(単位：件)

内容	件数	内容	件数
成年後見に関する事	517	財産管理関係	89
任意後見に関する事	83	DV・虐待関係	1
申立てに関する事	176	権利擁護関係	52
福祉制度・サービス関係	32	チーム支援	68
身上保護関係	31	その他	77
合計		1,126	

(2) 専門職による専門相談及び専門職派遣事業の実施

専門職の弁護士・司法書士・社会福祉士による無料の専門相談を市民向けに開催。またチーム支援を行うため、成年後見制度や権利擁護支援に精通した専門職(弁護士・司法書士・社会福祉士)を現場に派遣し、課題の整理等を行う専門職派遣事業を実施。

① 専門相談

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	4	4	0	2	0	4	2	2	4	3	4	31

※毎月第2・3・4水曜日に予約制で開催 1回最大3組まで

② 専門職派遣事業

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2

※毎月第1・3水曜日に支援者からの予約制で開催 1回1組のみ

(3) 会議の開催状況

① 運営委員会

(単位：人)

月日	場所	内容	出席数
6/2	枚方市役所第3分館 (旧市民会館) 3階 第2会議室	・各相談等実績報告と現状、課題について ・事例集の作成について ・令和5年度 研修計画について ・新パンフレットの検討について ・大阪家庭裁判所からの情報提供	17
2/2	ラポールひらかた	・こうけん ひらかた 令和5年度の取り組みについて	12

	3階 研修室 2	<ul style="list-style-type: none"> ・事例集の作成について ・新パンフレットについて ・こうけんひらかた情報誌について 	
--	----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

② 枚方市地域連携ネットワーク協議会 (単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
8/31	枚方市役所第3分館 (旧市民会館) 3階 第3会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・こうけん ひらかた 令和4年度活動について ・こうけん ひらかた 令和5年度活動状況 ・枚方市地域連携ネットワーク協議会 事例集の作成について ・研修の開催について 	22
2/27	ラポールひらかた 3階 研修室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・こうけん ひらかた 令和5年度の取り組みについて ・各構成団体の近況報告 ・事例集の作成について ・枚方市からの報告 	20

③ 枚方市地域連携ネットワーク協議会 相談支援部会

月 日	場 所	内 容	出席数
11/21	ラポールひらかた 2階 集会室	<ul style="list-style-type: none"> ・事例集作成についての経緯 ・事例集作成にあたって ・事例提供シートの回収状況、掲載する事例内容について 	16
1/19	ラポールひらかた 2階 集会室	<ul style="list-style-type: none"> ・事例集デザイン案について ・各事例テーマ検討 ・事例内容検討 	13
3/18	ラポールひらかた 2階 集会室	<ul style="list-style-type: none"> ・事例集内容検討 	9

(4) 研修・講習会

① 市民啓発講座 (単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
10/13	ラポールひらかた 3階 研修室 1	テーマ：学んで安心！あなたを守る成年後見制度 (法定後見) 講 師：餘家 守 氏 (あいいろ総合法務事務所)	30
10/20	ラポールひらかた 3階 研修室 1	テーマ：自分で作る、思い通りのセカンドライフ (任意後見) 講 師：藤本 就子 氏 (ふじもと司法書士行政書士事務所)	34
10/27	ラポールひらかた 3階 研修室 1	テーマ：今、安心するための「遺言書」の書き方 講 師：野本 伸子 氏 (香里さくら司法書士事務所)	34

② 親族後見人研修 (単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
12/19	ラポールひらかた 3階 研修室 1	テーマ：知って解決、親族後見人の仕事術！ 講 師：後見アドバイザー 行政書士 山原 京子 氏	3

③ 支援者研修 (単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
2/2	ラポールひらかた 4階 大研修室	テーマ：後見人の職務と意思決定支援 【登壇者】 <ul style="list-style-type: none"> ・種智院大学 人文学部 社会福祉学科 教授 明石 隆行 氏 ・大阪弁護士会 弁護士 松尾 洋輔 氏 ・リーガルサポートおおさか 司法書士 藤本 就子 氏 ・大阪社会福祉士会 社会福祉士 前川 敦 氏 ・枚方市市民後見人 	25

④ 説明会・研修会への出張

(単位：人)

月 日	対象者	内 容
5/29	児童発達支援・放課後等デイサービス「キナリイロ」	テーマ：知っておきたい 生活とお金を守る制度～「成年後見制度」と「こうけん ひらかた」～
10/11	やなぎ会	テーマ：知っておきたい 生活とお金を守る制度～「成年後見制度」～
10/18	やなぎ会	テーマ：知っておきたい 将来に備えて今からできること～任意後見制度について～
10/25	やなぎ会	テーマ：ひらかた権利擁護成年センターについて
11/29	児童発達支援・放課後等デイサービス「キナリイロ」	テーマ：知っておきたい 生活とお金を守る制度～「成年後見制度」と「こうけん ひらかた」～
12/12	地域包括支援センター 第7圏域事業所職員	テーマ：成年後見制度と「こうけん ひらかた」について
12/15	となとな家族会	テーマ：知っておきたい 生活とお金を守る制度～「成年後見制度」～
12/18	わらしべ会職員及び聴覚障害者	テーマ：①成年後見制度とは ②みんなで考えよう！！成年後見クイズ
1/18	美杉会職員	テーマ：知っておきたい 生活とお金を守る制度～「成年後見制度」と「こうけん ひらかた」～
1/31	大阪府立むらの高等支援学校 保護者	テーマ：知っておきたい 生活とお金を守る制度～日常生活自立支援事業・成年後見制度～
2/5	ワーク草笛家族会	テーマ：①ひらかた権利擁護成年センターについて ②知っておきたい 生活とお金を守る制度～「成年後見制度」と「こうけん ひらかた」～
3/5	民生委員児童委員協議会 高齢者部会研修会	テーマ：知っておきたい 生活とお金を守る制度～「成年後見制度」と「こうけん ひらかた」
3/14	パーソナルサポートひらかた 勉強会	テーマ：知っておきたい 生活とお金を守る制度～「成年後見制度」と「こうけん ひらかた」

(5) 広報・啓発活動

- ①新パンフレット 2,000部 作成、配付
- ②市民後見人向け情報誌作成
- ③こうけん ひらかたホームページ運用

(6) 市民後見人養成事業

市民後見人の後見活動の支援や大阪府社会福祉協議会が行う市民後見人養成講座への応援、バンク登録者への支援業務を行った。

- ・市民後見人バンク登録者 21人 (R6年3月31日現在)
- ・市民後見人受任件数 4件

①市民後見人の活動支援状況(市民後見人からの相談内容)

(単位：件)

内 容	件 数	内 容	件 数
選任までの支援	0	居住地について	31
家庭裁判所への報告書作成	12	地域との連携	1
身上保護(医療・介護サービス)	53	終了・辞任について	2
財産管理・金銭管理	14	センター業務について	0
対象者の理解と支援	59	その他	0
関係機関との連携	59		
	計		231

②市民後見人養成事業

- ・市民後見人養成講座への同行 9/2～2/3

- ・オリエンテーション
- ・市民後見人養成講座 基礎講習 4回
- ・市民後見人養成講座 実務講習 5回
- ・市民後見人養成講座 受講者面接 2回

③市民後見人バンク登録者フォローアップ研修 (単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
9/26	サンプラザ生涯 学習市民センター 第3集会室	テーマ：介護保険制度について理解を深める ①介護保険制度について学ぶ ②グループワーク（事例検討） 講 師：株式会社 かいご職人 今仲 学 氏	9
3/12	ラポールひらかた 特別会議室1	枚方市市民後見人受任者交流会	4
	ラポールひらかた 研修室1	テーマ：市民後見人に必要な知識の向上、他市との交流 を深める ①八尾市社会福祉協議会 権利擁護センター 職員による現状報告 ②八尾市市民後見人による活動報告 ③枚方市・八尾市市民後見人及び市民後見人バ ンク登録者交流会 講 師：八尾市社会福祉協議会 権利擁護センター 「ほっとネット」職員 八尾市市民後見人（2名）	10

④市民後見人受任調整会議等

月 日	場 所	内 容
3/15	大阪社会福祉指導センター	受任調整会議
3/27	ラポールひらかた	市民後見人意向確認会議

(7) 法人後見事業

判断能力が低下した利用者を対象として、本会が成年後見人等となり、対象者の財産管理・身上監護を行った。また、今年度より対象者を拡大し、従来の日常生活自立支援事業の契約者に加え、枚方市長が申立てを行った者についても本事業の対象者とし、より多くのニーズに応えるよう取り組んだ。

①申立件数と受任件数

申立件数 (単位：件)

内 訳	後見申立	保佐申立	補助申立
認知症高齢者等	2	0	0
知的障害者等	0	0	0
精神障害者等	0	0	0

受任件数 (単位：件)

内 訳	後見	保佐	補助
認知症高齢者等	3	2	0
知的障害者等	2	0	0
精神障害者等	2	0	0

②支援回数

562回（自宅・施設訪問、金銭の支払い業務、契約・解約手続、死後事務等）

③法人後見事業審査委員会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
3/6	ラポールひらかた	・被後見人の現状報告 ・対象者の審査	4

20. 総合福祉会館福祉相談・福祉情報提供事業

枚方市立総合福祉会館4階の図書コーナーにて福祉関係図書の貸し出しや返却を含める管理業務と各種福祉情報の提供業務に加え、福祉相談業務を実施した。スタッフは全員障害当事者を配置し、ピアカウンセリングの対応も可能となるように研修広報を行った。

(1) 福祉相談業務

開室日	228日
年間来所者	3,254人
相談件数	18件

※社協だよりに掲載後新規の相談が増加し継続相談や関係機関への紹介が行われた。

(2) 福祉情報提供業務

福祉図書やビデオ・DVDの貸出し、返却

図 書	貸出し	599冊
	返却	601冊
	廃棄	37冊
ビデオ DVD	貸出し	1本
	返却	0本
	廃棄	0本
新規登録者（貸出利用者登録）		45人

※空調設備の故障から約4か月の閉室があったため件数は減少しているが、再開後開室を喜ぶ声が多く寄せられた。

(3) 福祉図書の購入

福祉、医療、環境等をテーマにした図書および雑誌、新聞の購入・購読

種 類	
福祉関連書籍	27冊
コミックス	15冊
雑誌	2種類（月間福祉他）
新聞	2部（日刊紙・福祉新聞）

(4) 研修

障害当事者スタッフのピアカウンセリング研修

月 日	内 容	対 象
1/22	「枚方市におけるCSWの相談対応と各種相談機関について」 講師：枚方市社会福祉協議会 地域福祉課	当事者スタッフ

21. 総合福祉会館管理運営事業

障害者や高齢者などの生活支援に必要な情報やサービスの提供、各施設等の貸し出しなどを通じ、市民の福祉活動やボランティア活動等の支援を行った。

令和5年3月から9月は設備故障で高度下水処理水の供給が停止し、熱源システム等を使用したプール昇温や冷房用熱源が確保できないため温水プールは休業した。貸室の一部と各事業所は業務用冷風機を配置し施設使用を継続したが、外気温に比例し館内温度が高温となったため貸室は使用を制限した。

また新型コロナウイルス感染症は5類へ移行した後も、インフルエンザ等他の感染症と共に拡大・縮小を繰り返

返したため、基本的な感染症対策について施設利用者に理解と協力を呼びかけ、開館の継続に努めた。

(1) 開館日数 (単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	30	29	30	30	29	30	29	27	27	28	30	348

(2) 部屋別利用状況

令和5年7月18日～9月24日 大研修室 午前午後の時間帯以外貸室使用中止
(高度下水処理水関連の設備故障のため)

①有料室 (単位：件)

室名	午前	午後	夜間	合計	稼働率(%)
研修室1	119	164	49	332	31.8
研修室2	135	137	92	364	34.9
研修室3	110	114	89	313	30.0
研修室4	78	101	46	225	21.6
集会室	93	98	47	238	22.8
和室	60	70	10	140	13.4
大研修室	191	211	44	446	42.7
保育室	33	23	9	65	6.2
作業室	24	39	17	80	7.7
日常生活訓練室	34	30	14	78	7.5
合計	877	987	417	2,281	21.8

②無料室 (単位：件)

室名	午前	午後	夜間	合計	稼働率(%)
ミーティングルーム1	182	183	139	504	48.3
ミーティングルーム2	181	172	137	490	46.9
ミーティングルーム3	206	179	20	405	38.8
福祉団体共用ルーム	116	152	46	314	30.1
福祉情報制作室	74	38	2	114	10.9
録音室	0	0	0	0	0.0
合計	759	724	344	1,827	29.2

③施設見学受入状況 (単位：件・人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④登録団体の状況

登録団体数	124団体
-------	-------

(内訳) 障害者団体：63団体／ボランティア団体：54団体／その他団体：7団体(法人団体等)

⑤温水プール事業

【臨時休業】＊令和5年4月1日～10月8日／高度下水処理水断水に伴う冷暖房・昇温運転停止の為
＊令和5年12月1日～令和6年1月19日／保全計画に伴う設備改修工事の為

(ア) 開業日数と利用区分別の利用状況

開業日数 (単位：日)	利用者の区分 (単位：人)				月計
	4～14歳	15～64歳	65歳以上	障害者	
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0

10月	19	150	518	523	848	2,039
11月	25	145	738	715	1,142	2,740
12月	0	0	0	0	0	0
1月	10	110	335	230	376	1,051
2月	24	179	808	558	1,052	2,597
3月	26	201	847	652	1,102	2,802
年計	104	785	3,246	2,678	4,520	11,229
		(7.0%)	(28.9%)	(23.8%)	(40.3%)	(100.00%)

(イ) 水泳教室等の開催状況

(単位：回/人)

(△)は臨時休業等に伴う中止回数

教室	開催期間	開催回数	参加者数(延べ)
しっかり泳ごう 障害者水泳教室 (中学生以上)	5/21	(△)0	臨時休業の為中止
	10/15	1	12
	2/18	(△)0	臨時休業の為中止
泳ぎを習得 障害者水泳教室 (中学生以上)	6/18	(△)0	臨時休業の為中止
	12/17	(△)0	臨時休業の為中止
	3/17	1	13
障害児ファミリー水泳教室	5/13 ~ 6/24	(△)0	臨時休業の為中止
	10/14 ~ 11/25	7	100
障害児(者)親子水泳教室 (小学生以上)	10/14 ~ 11/25	7	124
障害児(者)水泳教室 (小学生以上)	2/10 ~ 3/23	7	124
障害児(者)ファミリー水泳 (小学生以上)	11/11 ~ 12/23	(△)0	臨時休業の為中止
高齢者初級水泳教室	11/8 ~ 12/20	(△)0	臨時休業の為中止
初心者水泳教室	5/10 ~ 6/21	(△)0	臨時休業の為中止
	10/18 ~ 11/29	7	83
	2/14 ~ 3/27	7	96
中級水泳教室	5/12 ~ 6/23	(△)0	臨時休業の為中止
	10/13 ~ 11/24	7	75
	2/9 ~ 3/22	7	20
アクアウォーキング教室	5/11 ~ 6/22	(△)0	臨時休業の為中止
	10/19 ~ 11/30	7	147
	11/9 ~ 12/21	(△)0	臨時休業の為中止
	2/15 ~ 3/28	7	112
水中体操教室	5/11 ~ 6/22	(△)0	臨時休業の為中止
	10/19 ~ 11/30	7	104
	11/9 ~ 12/21	(△)0	臨時休業の為中止
	2/15 ~ 3/28	7	94
アクアビクス教室	5/11 ~ 6/22	(△)0	臨時休業の為中止
	10/19 ~ 11/30	7	93
	11/9 ~ 12/21	(△)0	臨時休業の為中止
	2/15 ~ 3/28	7	104
サポート水泳教室①	5/10 ~ 6/21	(△)0	臨時休業の為中止
	10/18 ~ 11/29	7	53
	11/8 ~ 12/20	(△)0	臨時休業の為中止
	2/14 ~ 3/27	7	44
サポート水泳教室②	5/12 ~ 6/23	(△)0	臨時休業の為中止
	10/13 ~ 11/24	7	78
	11/10 ~ 12/22	(△)0	臨時休業の為中止

	2 / 9 ~ 3 / 22	7	65
エンジョイ水中運動教室	5 / 10 ~ 6 / 21	(△7) 0	臨時休業の為中止
	7 / 12 ~ 8 / 23	(△7) 0	臨時休業の為中止
	10 / 18 ~ 11 / 29	7	134
	11 / 8 ~ 12 / 20	(△7) 0	臨時休業の為中止
	2 / 14 ~ 3 / 27	7	115
リフレッシュ (講座)	年7回	(△7) 0	臨時休業の為中止
スイミングセミナー	4 / 16, 9 / 17	(△2) 0	臨時休業の為中止
	11 / 19	1	4
	2 / 18	1	6
チャレンジ水泳教室	夏休み期間	(△3) 0	臨時休業の為中止
	春休み期間	(△3) 0	臨時休業の為中止
合 計		(△145) 137	1,800

(ロ) プール「特別プログラム」

※臨時休業に伴い開催を中止した、4年度の水泳教室5期・リフレッシュ(講座)、5年度の水泳教室1期の申込者を対象に開催

プログラム名	開催期間	開催回数	参加者数(延べ)
健康体操	5 / 11 ~ 6 / 22	21	197
体すつきり体操	5 / 11 ~ 6 / 22	7	62
リズム体操 & レクリエーションゲーム	5 / 10 ~ 6 / 21	7	97
合 計		35	356

(3) 車いす貸し出し状況

(単位：台・件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
貸出件数(件)	11	14	6	4	7	6	13	12	12	4	5	8	102
貸出台数(台)	11	14	6	4	7	6	13	12	12	4	5	8	102

※車いす総保有台数 5台(自走車 3台、介助車 2台)

(4) 各種事業の開催

①福祉(いきいき)講座

(単位：人)

月 日	内 容	出席数(延べ)
10/13~ 11/24 (全6回)	◎シニア世代の健康体操教室(対象：60歳以上) 「シニア世代の健康体操～脳・心・体の三方良しの健康体操～」 講師：健康運動指導士 康本 貞恵 氏	197

②市民講座

(単位：人)

月 日	内 容	出席数(延べ)
5/12~ 6/30 (全8回)	◎はじめてのヨガ教室(対象：高校生以上のヨガ初心者) 講師：(特活)日本YOGA連盟 先川 秀子 氏	98
5/15~7/3 (全8回)	◎はじめての太極拳教室(対象：高校生以上の太極拳初心者) 講師：大阪武術太極拳連盟 A級指導員 岸本 康宏 氏	162
11/20 (全1回)	◎健康講座「食事からみる認知症予防」 「～今日から始める献立選び～」 講師：ひらかた地域活動栄養士会 栄養アドバイザー「萌」 松岡 由美 氏、濱上 和代 氏	29

2/2～3/8 (全5回)	◎椅子に座ってストレッチ (対象：高校生以上の市民) 講師：(特活)日本YOGA連盟 先川 秀子 氏	69
------------------	-------------------------------------------------------	----

③ボランティアセンターとの共催事業

手作りおもちゃ講習会、ボランティア講座を開催（詳細は、ボランティア活動推進事業に掲載）

④ラポールいこいのミニライブ開催状況

各グループ・サークルが日頃の練習成果を披露し、観客と膝と膝を合わせた一体感ある手作りライブ・市民交流の場となるように、1階正面玄関ロビーを開放。併せて総合福祉会館の利用を促し、新たな利用者を開拓してきた。令和5年度は設備故障に伴う室温上昇、保全工事の騒音とプール休業により来館者が減り集客が困難な状況にあったため開催を断念した。次年度出演者の募集は2月に再開した。

*開催状況

月	回数(回)	内 容
4月	0	※新型コロナウイルス感染予防の為、中止
5～10月		※設備故障に伴う室温上昇の為、中止
11～3月		※保全工事・温水プール休業に伴い、来館者減少の為中止

(5) HUG共同事業体会議

10/31 ・令和5年度の事業状況について ・中間モニタリングについて

(6) 研修事業等の実施

職員の資質並びに利用者サービスの向上・安全管理の面から下記の研修会を実施。また、関係機関が実施した研修会等にも参加。

- 7～8月 人権研修（オンライン研修／障害者虐待・アサーションについて）
- 9/6・27 接遇研修（インボイス制度と受付事務について）
- 11/29 消防総合訓練（通報・避難訓練、消火実習、避難器具の使用）
- 3/14 消防部分訓練（消火・避難器具の確認、垂直避難訓練）
- 3/18 障害者差別解消法研修（障害者差別におけるハラスメントについて）